

山鹿市総合戦略等に関する市民アンケート 調査結果報告書

令和5年3月

山鹿市総合戦略課

目次

I. 市民アンケート調査の概要	1
II. 回答者ご自身の現状	2
問1 性別について.....	2
問2 年齢について.....	2
問3 お住まいの地域について.....	3
問4 結婚について.....	4
問5 同居されているお子様（18歳未満）について.....	4
III. 山鹿市の現状について	5
問6 山鹿市の人口減少について.....	5
問7 山鹿市の元気度について.....	6
問8 山鹿市の基幹産業である農林業について.....	8
問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について.....	9
IV. 人口政策について	11
問10 山鹿市総合戦略における、 人口政策でもっとも充実して欲しい取組について.....	11
問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度と重要度について.....	13
V. 経済政策について	19
問12 山鹿市総合戦略における、 経済政策でもっとも充実して欲しい取組について.....	19
問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度と重要度について.....	21
VI. 山鹿市総合計画について	24
問14 「人輝き飛躍する都市まちやまが」実現のために、 もっとも重要と思われるものについて.....	24
問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の 先導施策の満足度と重要度について.....	26

VII. 山鹿市に対する考えについて.....29

問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか.....	29
問17 山鹿市が暮らしにくい理由の自由記述.....	30
問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか.....	33
(問18) 住み続けたい理由(複数回答).....	35
(問18) 市外へ転居したい理由(自由記述).....	36
問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、 特に重要と思われる取組.....	38

VIII. 総合戦略について(話題別、自由記述抜粋).....39

問20 今後、充実すべき取組や新たな取組等(自由記述).....	39
----------------------------------	----

IX. 市民アンケート総括.....47

<山鹿市の現状について>.....	47
<人口政策について>.....	47
<経済政策について>.....	49
<山鹿市総合政策について>.....	51
<山鹿市に対する考えについて>.....	52

I. 市民アンケート調査の概要

1. アンケート調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら総合戦略に掲げた目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

2. 調査対象

山鹿市在住の市民を無作為に抽出した3,000人

3. 調査事項

- (1) ご自身の現在の状況について（問1～問5）
- (2) 山鹿市の現状について（問6～問9）
- (3) 人口政策について（問10～問11）
- (4) 経済政策について（問12～問13）
- (5) 山鹿市総合計画について（問14～問15）
- (6) 山鹿市に対する考えについて（問16～問20）

4. 調査期間

令和5年1月6日（金）～1月31日（火）

5. 調査方法

郵送による調査票の配布

郵送またはインターネットによる回答

6. 回収状況

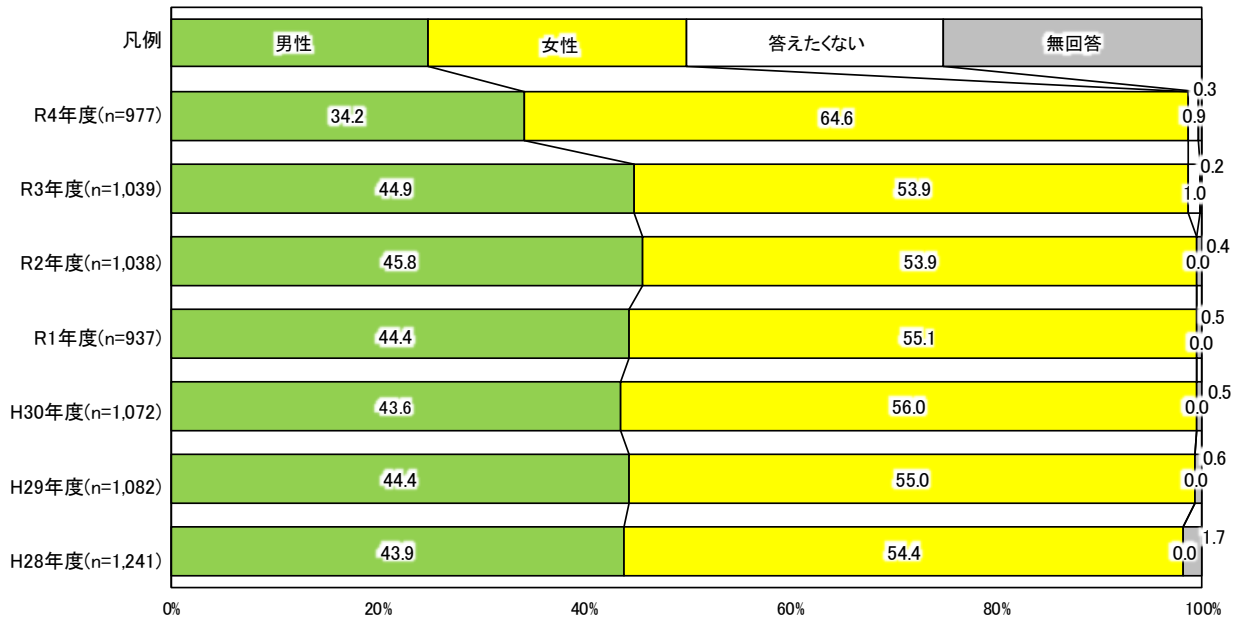
回答方法	配布部数	有効回収数	有効回収率
郵送	3,000	760	25.3%
インターネット		215	7.2%
計	3,000	975	32.5%

Ⅱ. 回答者ご自身の現状

問1 性別について

・ 回答者の性別割合は、「男性」が34.2%、「女性」が64.6%となっている。R3年度以前と比べ「女性」の割合が高くなっている。

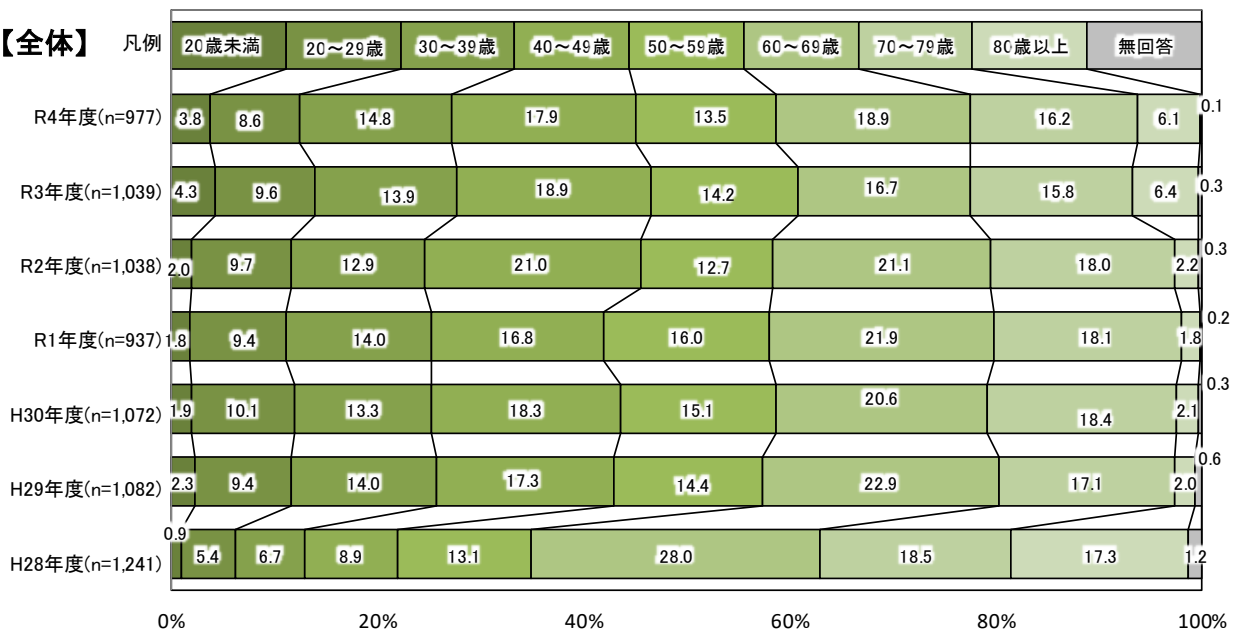
【全体】



問2 年齢について

・ 年代別では、「60代」が18.9%と最も高く、「50代」以降の合計が54.7%と半数を超えている。

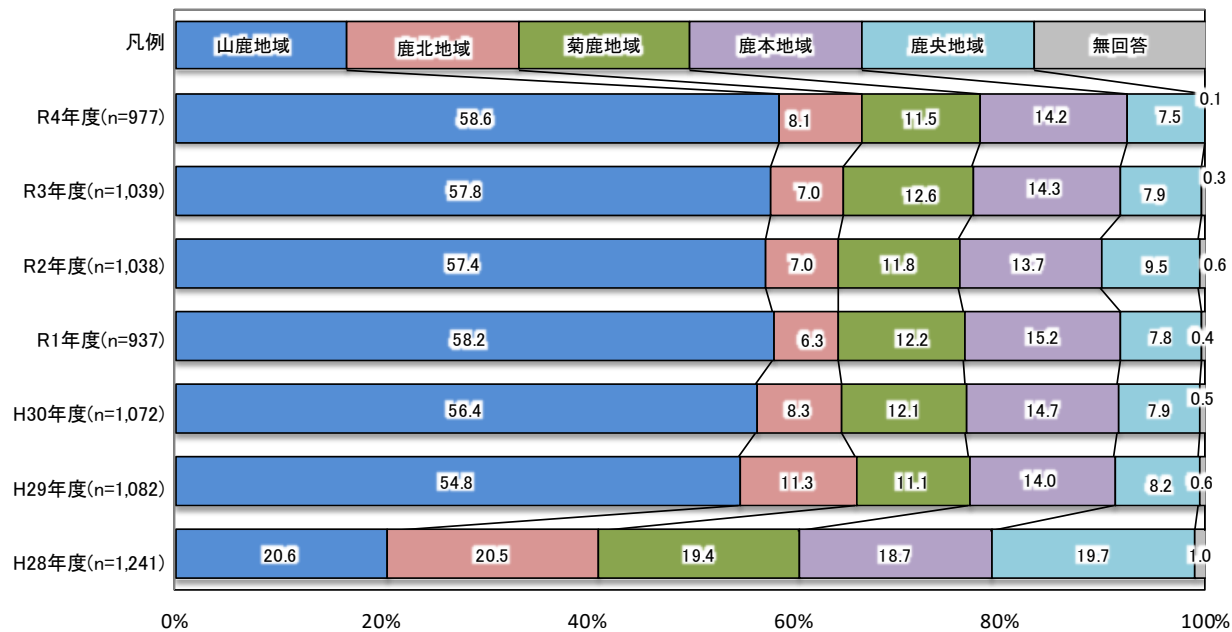
【全体】



問3 お住まいの地域について

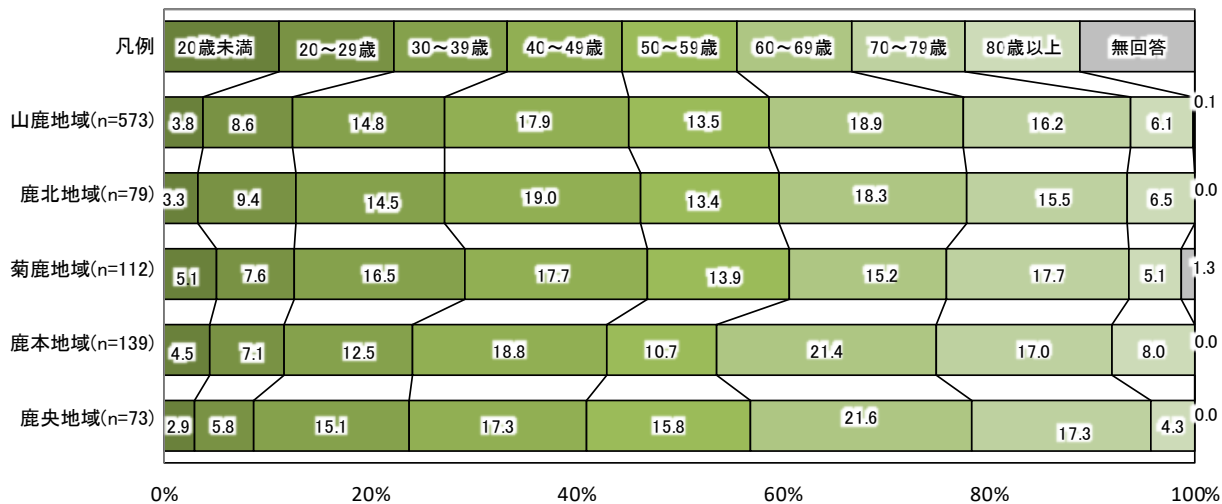
- ・ 地域別では、「山鹿地域」が約6割を占めている。
- ・ 過去調査と比較した地域別構成比は、H29年度以降ほとんど変わらない。

【全体】



- ・ 地域別年齢構成では、「鹿北地域」では40代、「山鹿地域」「鹿本地域」「鹿央地域」では60代、「菊鹿地域」では40代と70代が最も高くなっている。
- ・ 全ての地域で、50代以降の合計が5割を超えて高くなっている。

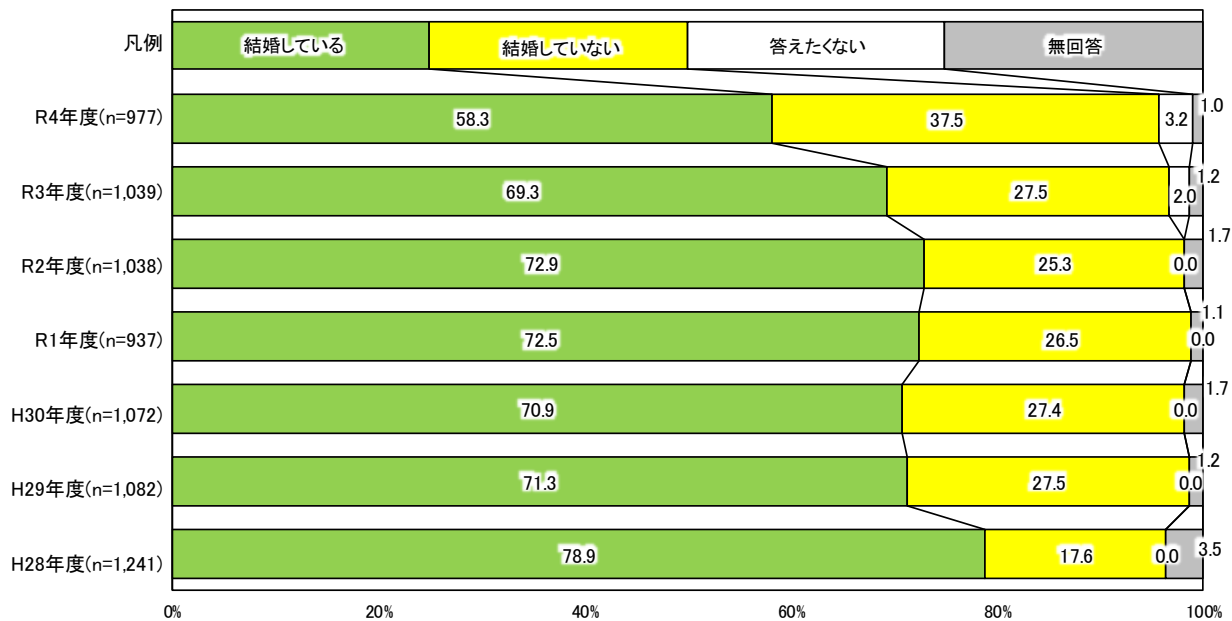
【地区別】



問4 結婚について

- 結婚の有無については、「結婚している」が58.3%、「結婚していない」が37.5%、「答えたくない」が3.2%となっている。R3年度以前と比べ「結婚している」の割合は低下傾向が認められる。

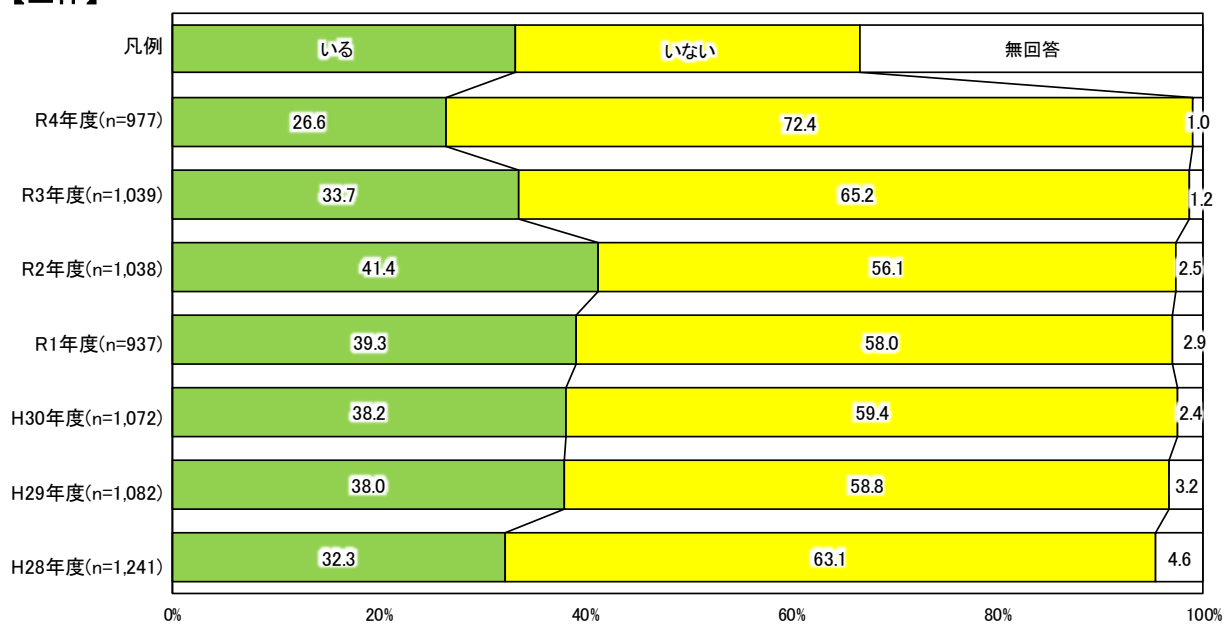
【全体】



問5 同居されているお子様（18歳未満）について

- 同居する子どもの有無については、「いる」が26.6%、「いない」が72.4%となっている。R2年度以降、「いる」の割合は低下傾向が認められる。

【全体】

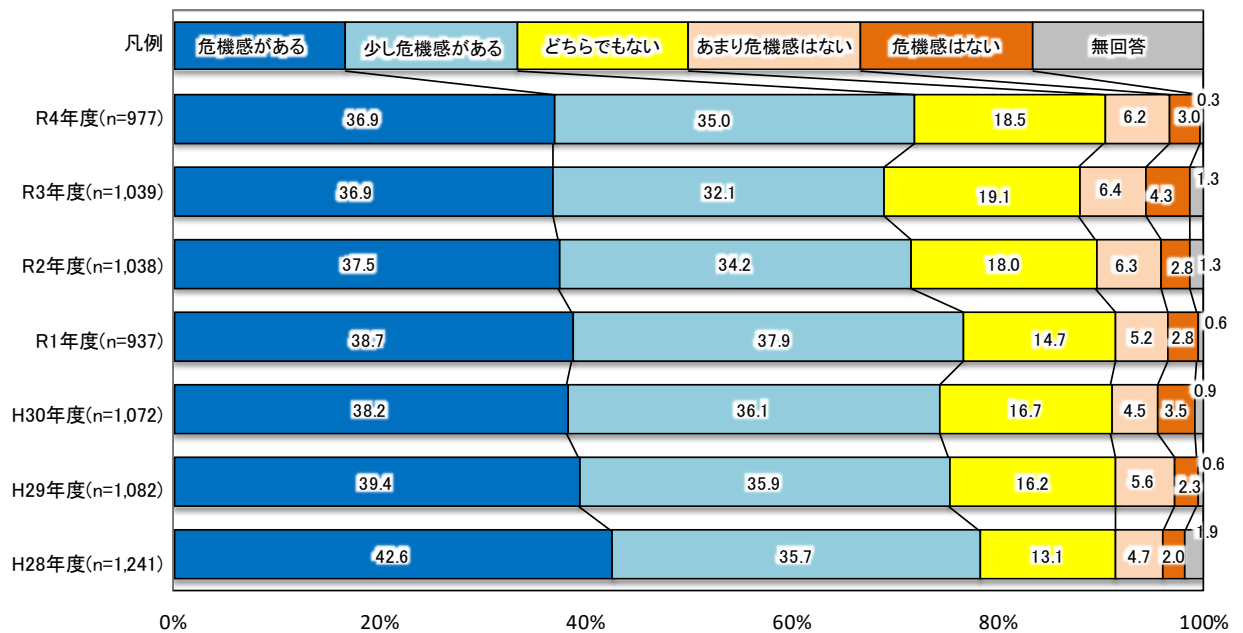


Ⅲ. 山鹿市の現状について

問6 山鹿市の人口減少について

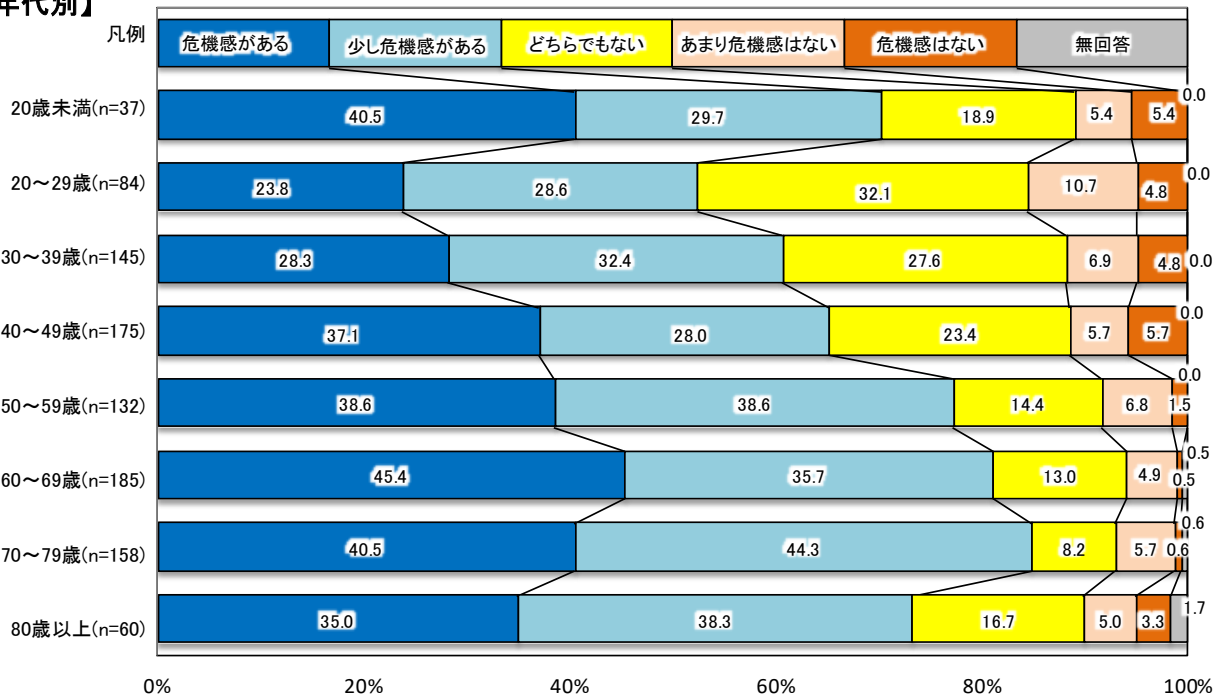
・ 山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が36.9%、「少し危機感がある」が35.0%となっており、約7割が危機感を感じている。

【全体】



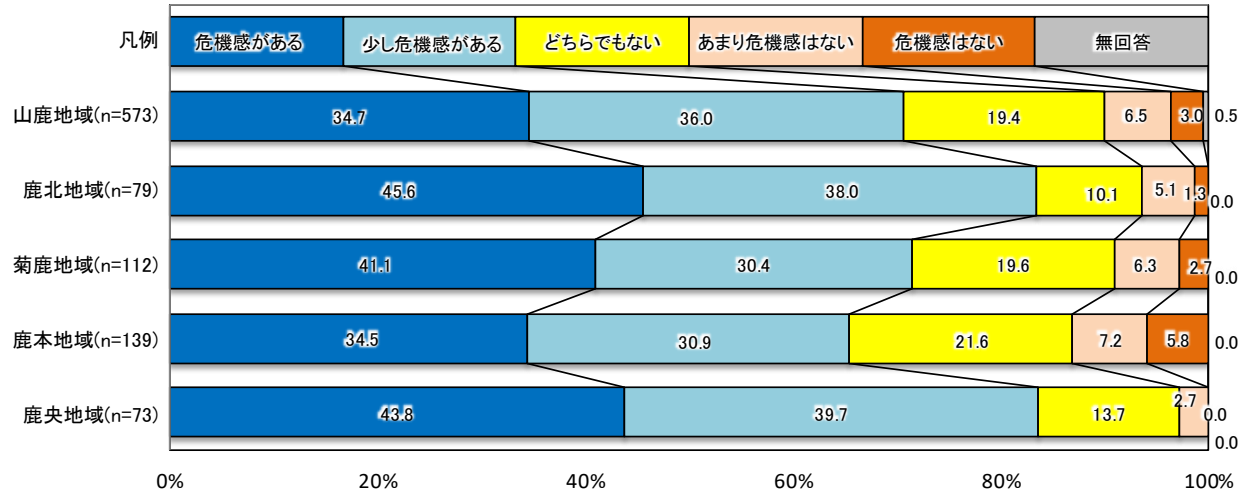
・ 年代別では、20歳未満、50代、60代、70代、80歳以上で「危機感がある」「少し危機感がある」の合計が7割を超えており、特に60代と70代の割合は8割を超えている。

【年代別】



- ・ 地区別では、鹿北地域で「危機感がある」が45.6%と最も高く、これに鹿央地区の43.8%が続いている。「危機感がある」「少し危機感がある」を合わせても鹿北地域が83.6%と最も高く、これに鹿央地域の83.5%が続いている。

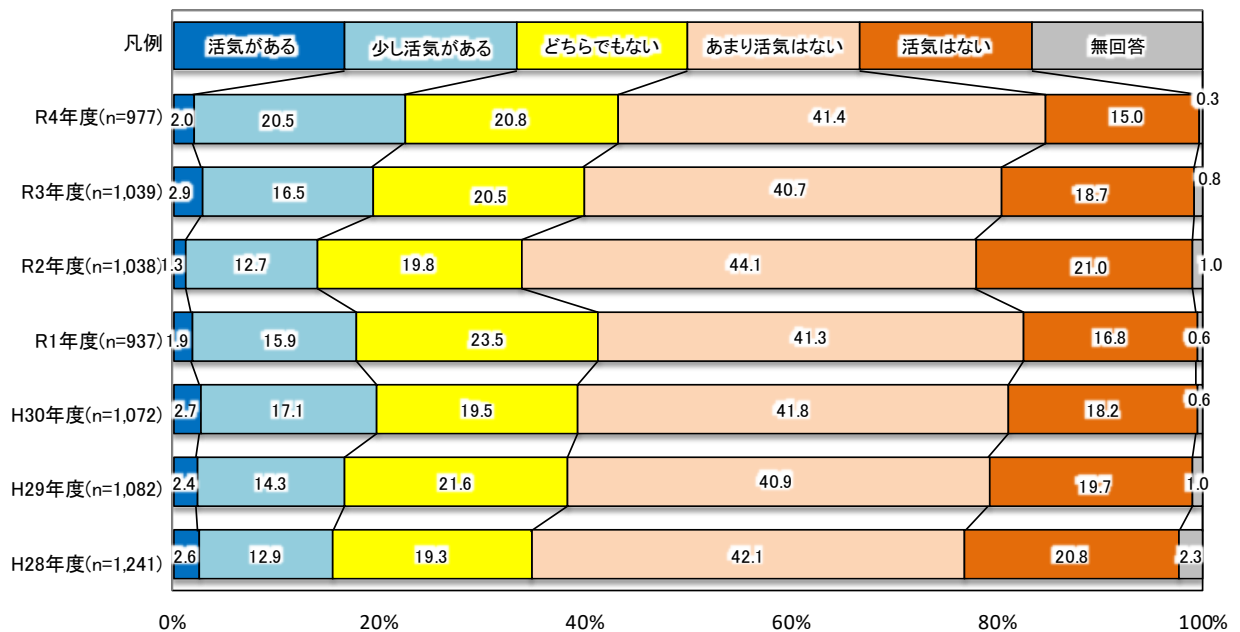
【地区別】



問7 山鹿市の元気度について

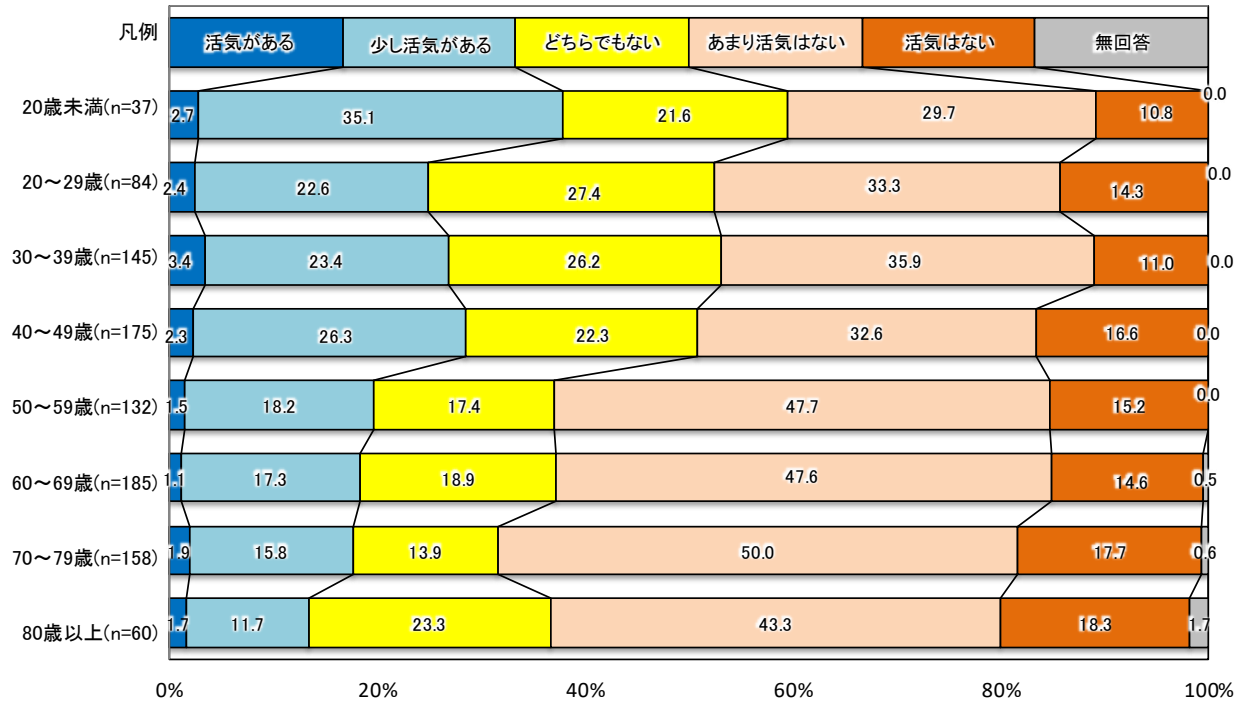
- ・ 山鹿市の元気度については、「活気がある」「少し活気がある」の合計22.5%に対し、「活気はない」「あまり活気はない」の合計は56.4%となっており、活気がないと感じている割合が5割を超えて高くなっている。

【全体】



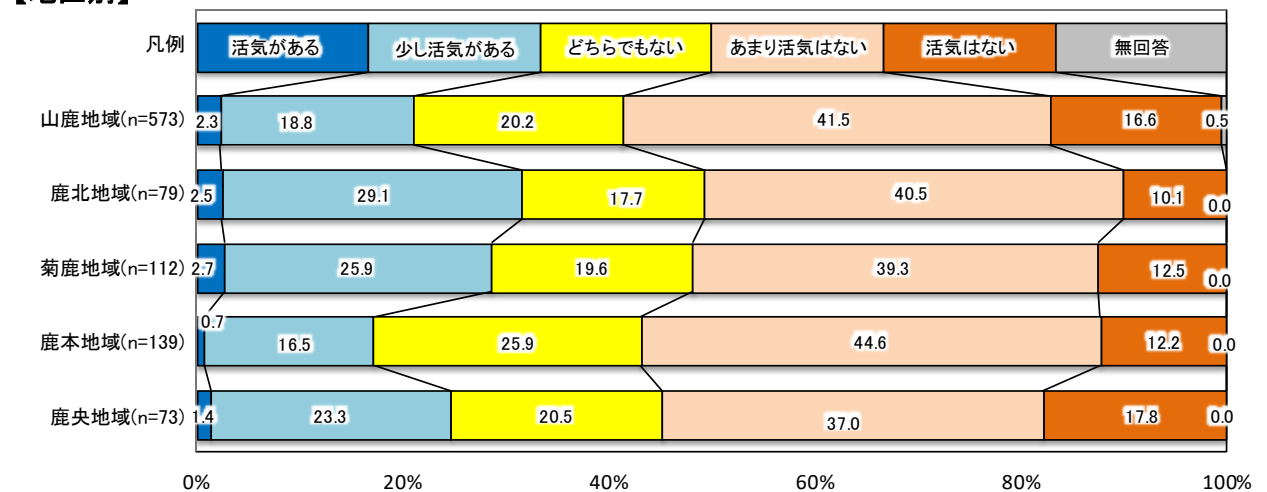
- 山鹿市の元気度について、年代別では「活気はない」「あまり活気はない」の合計が50代以降で6割を超えて高くなっている。
- 20歳未満では「活気がある」「少し活気がある」を合わせた割合が37.8%で最も高くなっている。

【年代別】



- 地区別では、全ての地域で「活気はない」「あまり活気はない」の割合が5割を超えて高くなっているが、鹿北地域と菊鹿地域では「活気がある」「少し活気がある」の合計が約3割前後と他の地域に比べやや高くなっている。

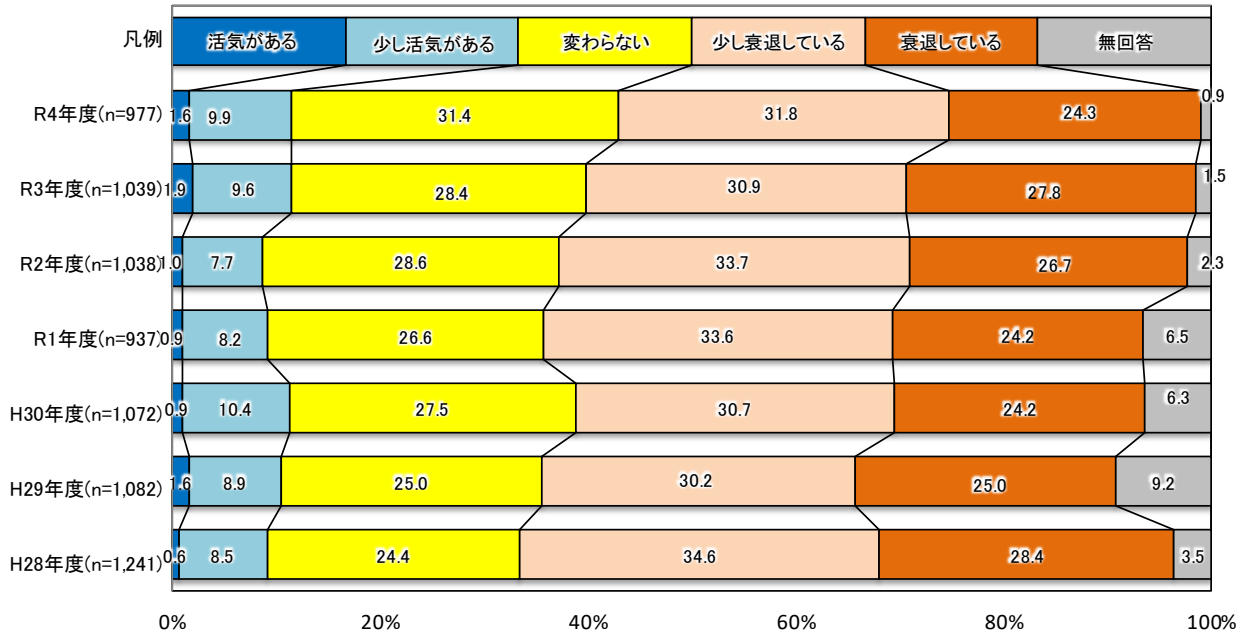
【地区別】



問8 山鹿市の基幹産業である農林業について

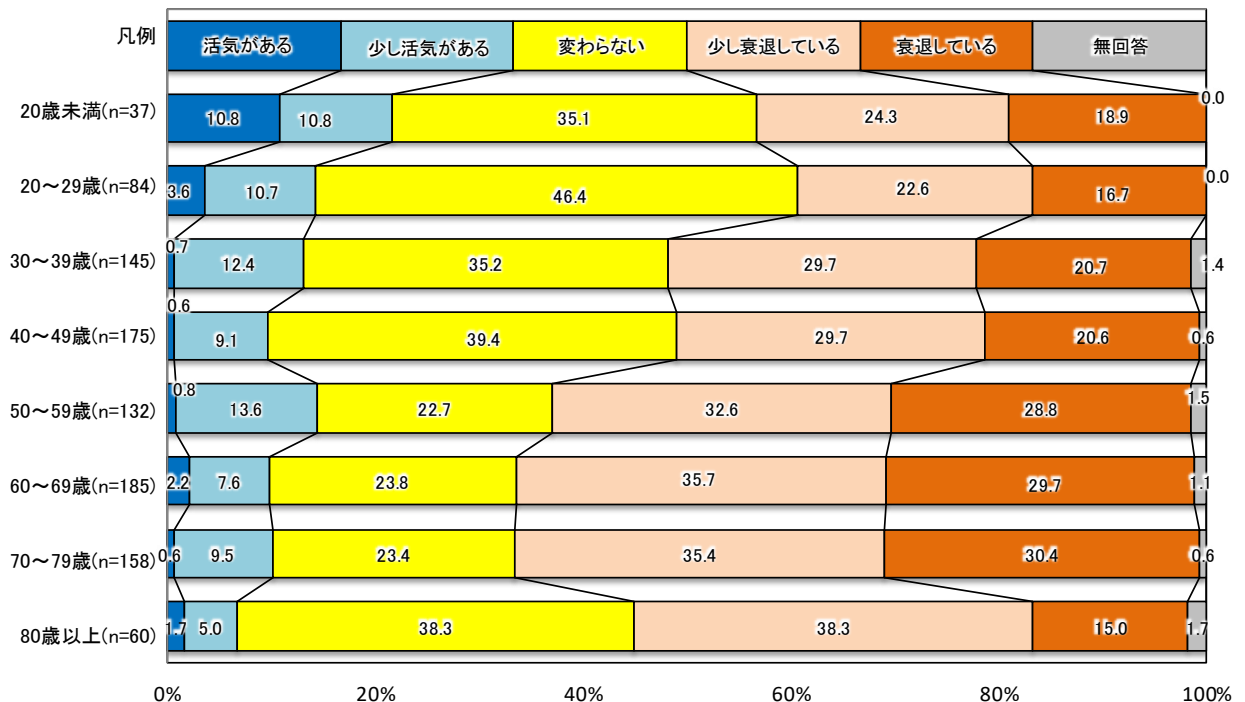
・ 農林業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は11.5%で、「衰退している」「少し衰退している」の合計は56.1%となっている。

【全体】



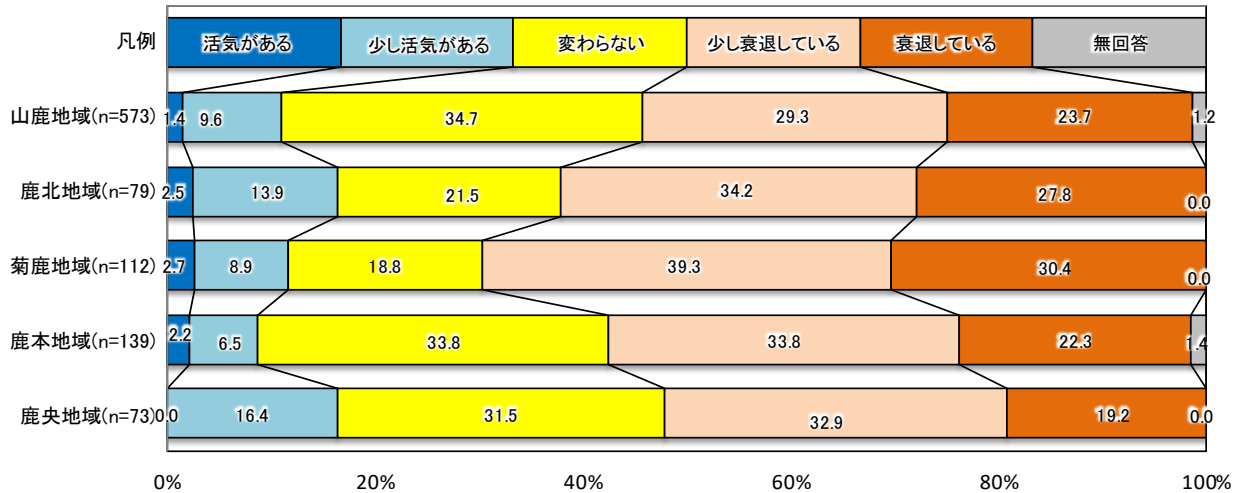
・ 農林業の現状について、年代別では、「衰退している」「少し衰退している」の合計は30代以降の全ての年代で5割を超えて高くなっている。

【年代別】



- ・ 地区別では、「衰退している」「少し衰退している」の合計が全ての地域で 5 割を超えて高くなっているが、菊鹿地域では約 7 割となっており、他の地域に比べて高くなっている。

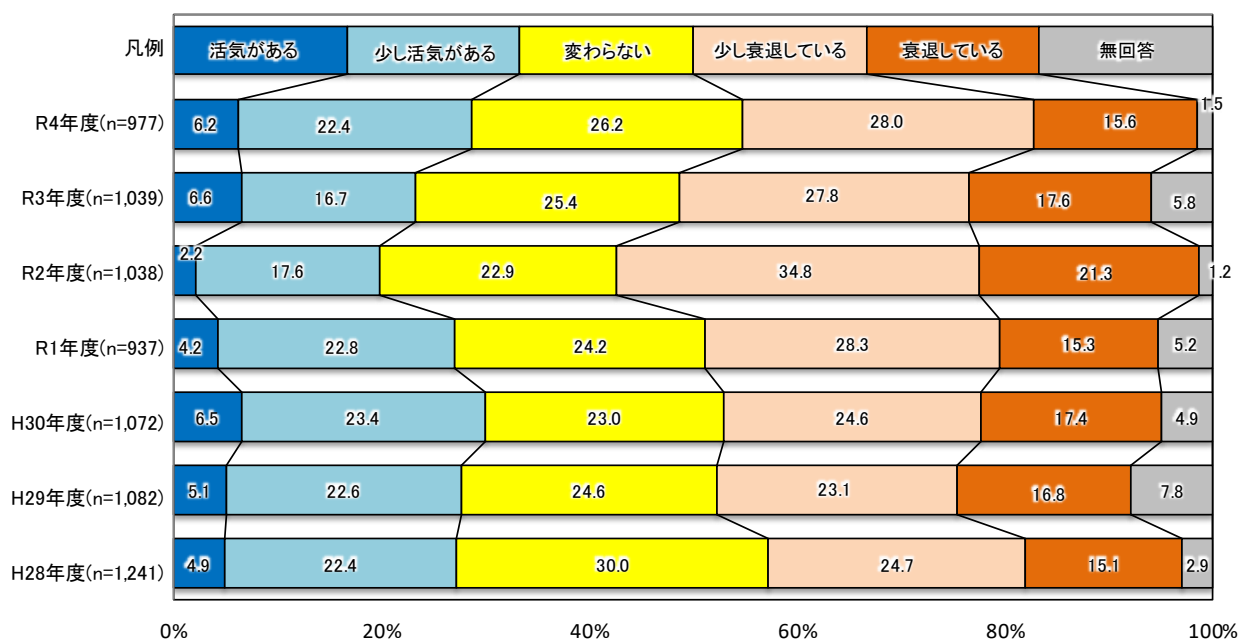
【地区別】



問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について

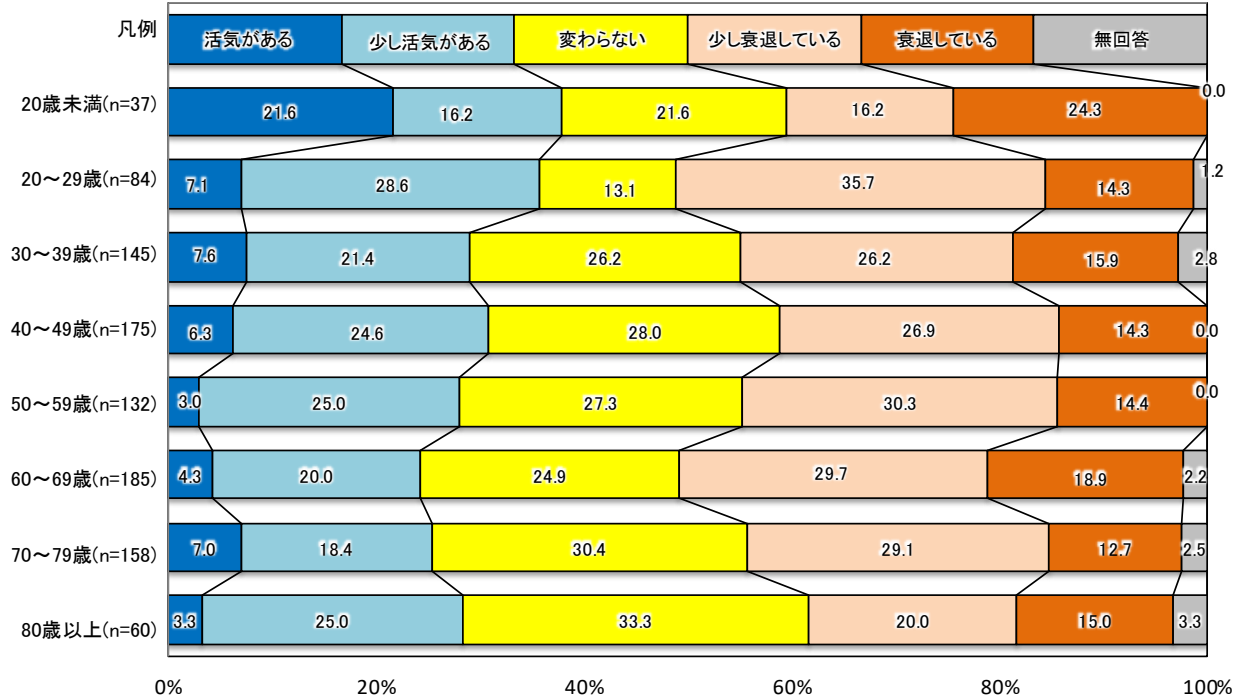
- ・ 観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 28.6%、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 43.6%となっている。
- ・ 「衰退している」「少し衰退している」の合計が最も高くなっている R2 年度と比較すると、12.5 ポイント低くなっている。

【全体】



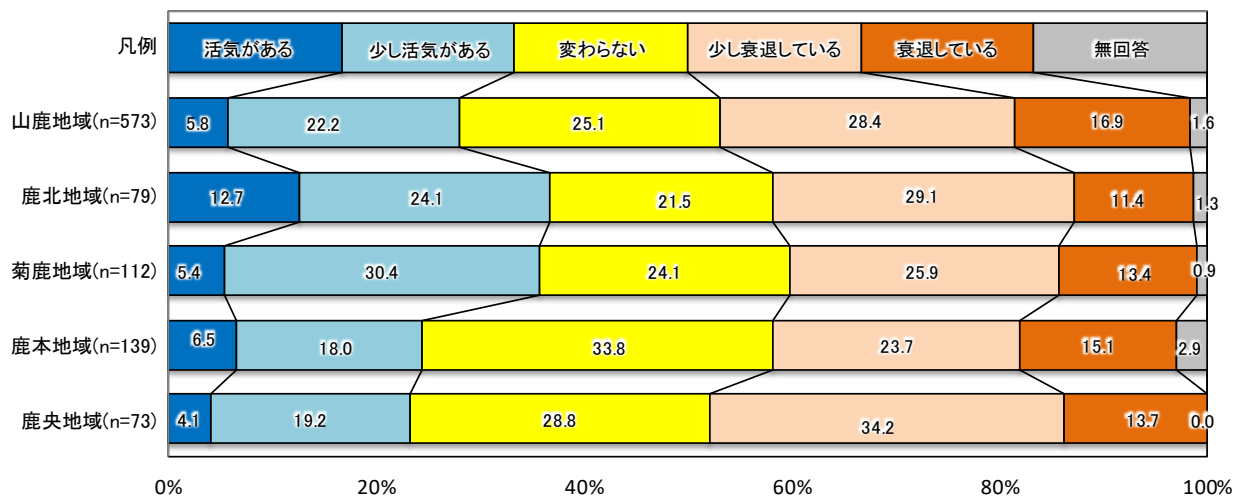
- 観光産業の現状について、年代別では、20歳未満で「活気がある」「少し活気がある」の合計が37.8%で最も高くなっている。20代では「衰退している」「少し衰退している」の合計が50.0%となっており、最も高くなっている。

【年代別】



- 地区別では、鹿北地域で「活気がある」「少し活気がある」の合計が36.8%で最も高く、これに菊鹿地域の35.8%が続いている。鹿央地域では「衰退している」「少し衰退している」の合計が47.9%と最も高く、これに山鹿地域の45.3%が続いている。

【地区別】

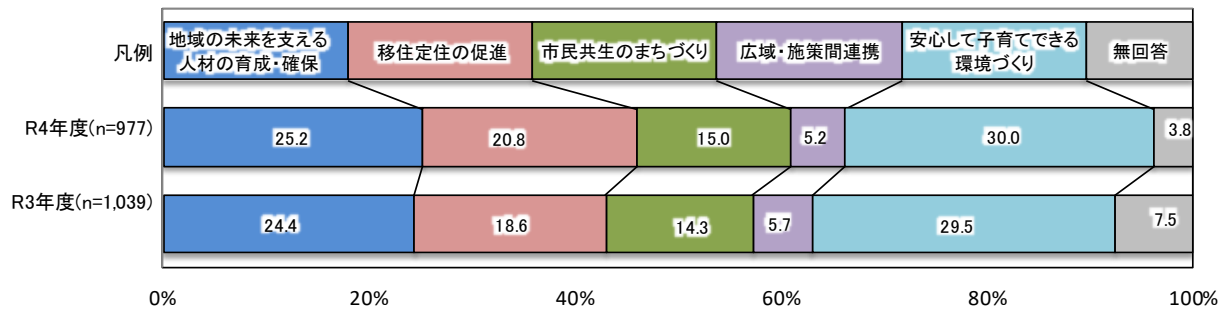


IV. 人口政策について

問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について

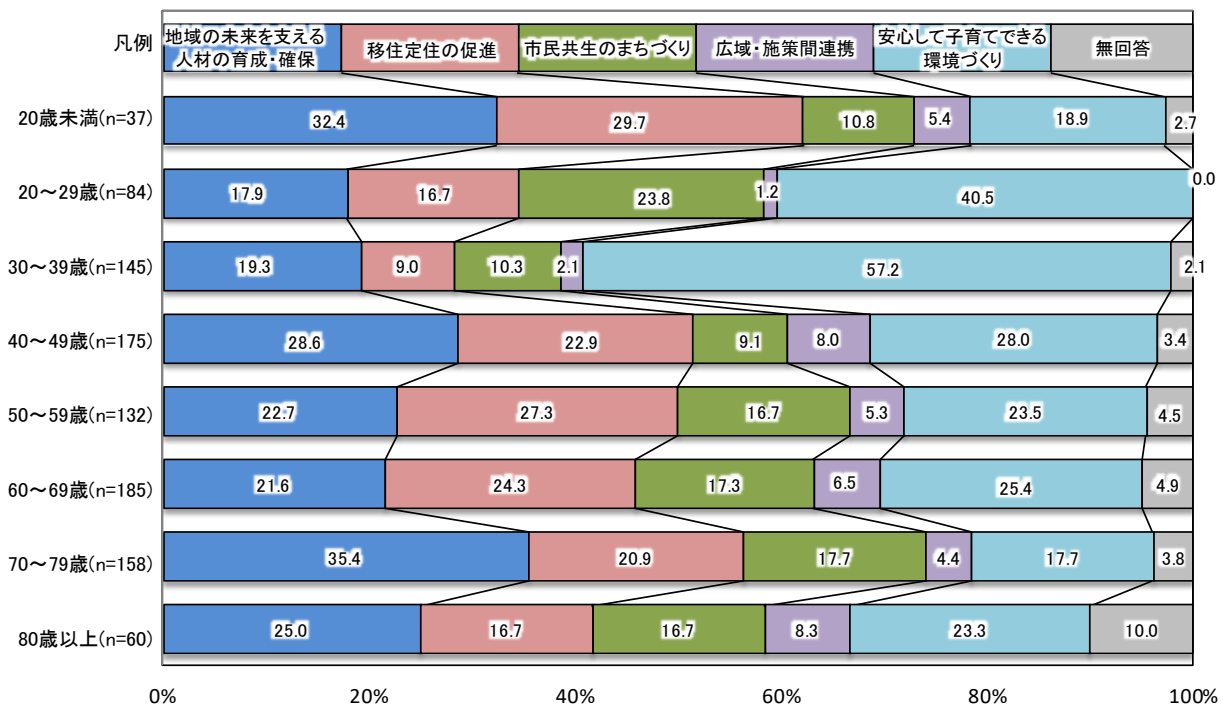
- 人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が30.0%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.2%、「移住定住の促進」20.8%となっている。R3年度と比較しても大きな差は認められない。

【全体】



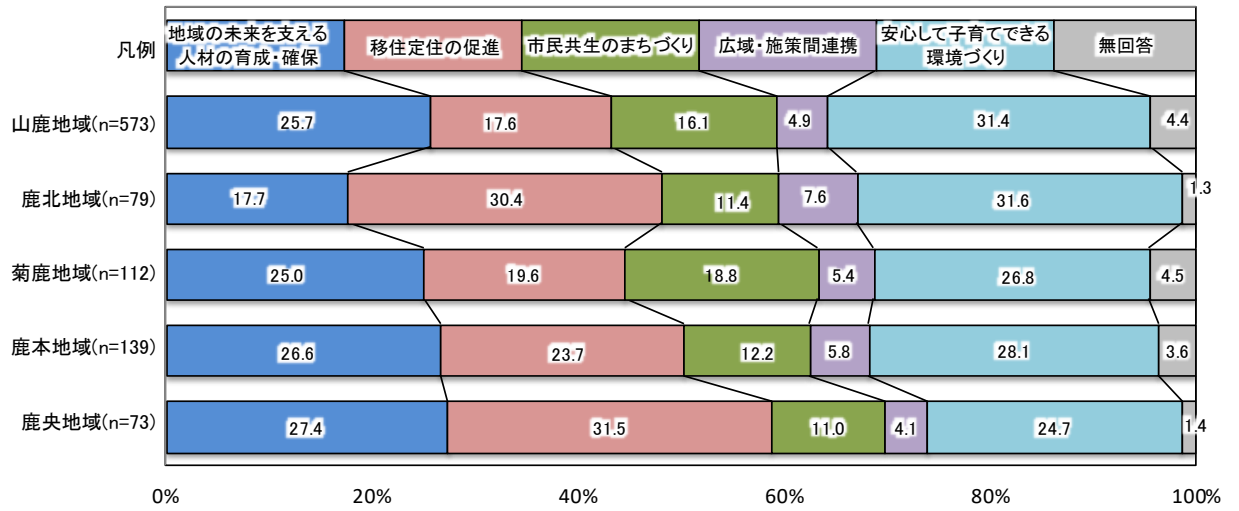
- 人口政策で充実して欲しい取組について、年代別では、20代、30代、60代では「安心して子育てできる環境づくり」の割合が最も高い。20歳未満、40代、70代、80歳以上では「地域の未来を支える人材の育成・確保」の割合が最も高く、50代は「移住定住の促進」の割合が最も高い。

【年代別】



- ・ 地区別では、鹿央地域を除く全ての地域で「安心して子育てできる環境づくり」の割合が最も高くなっている。鹿央地域は「移住定住の促進」の割合が最も高い。

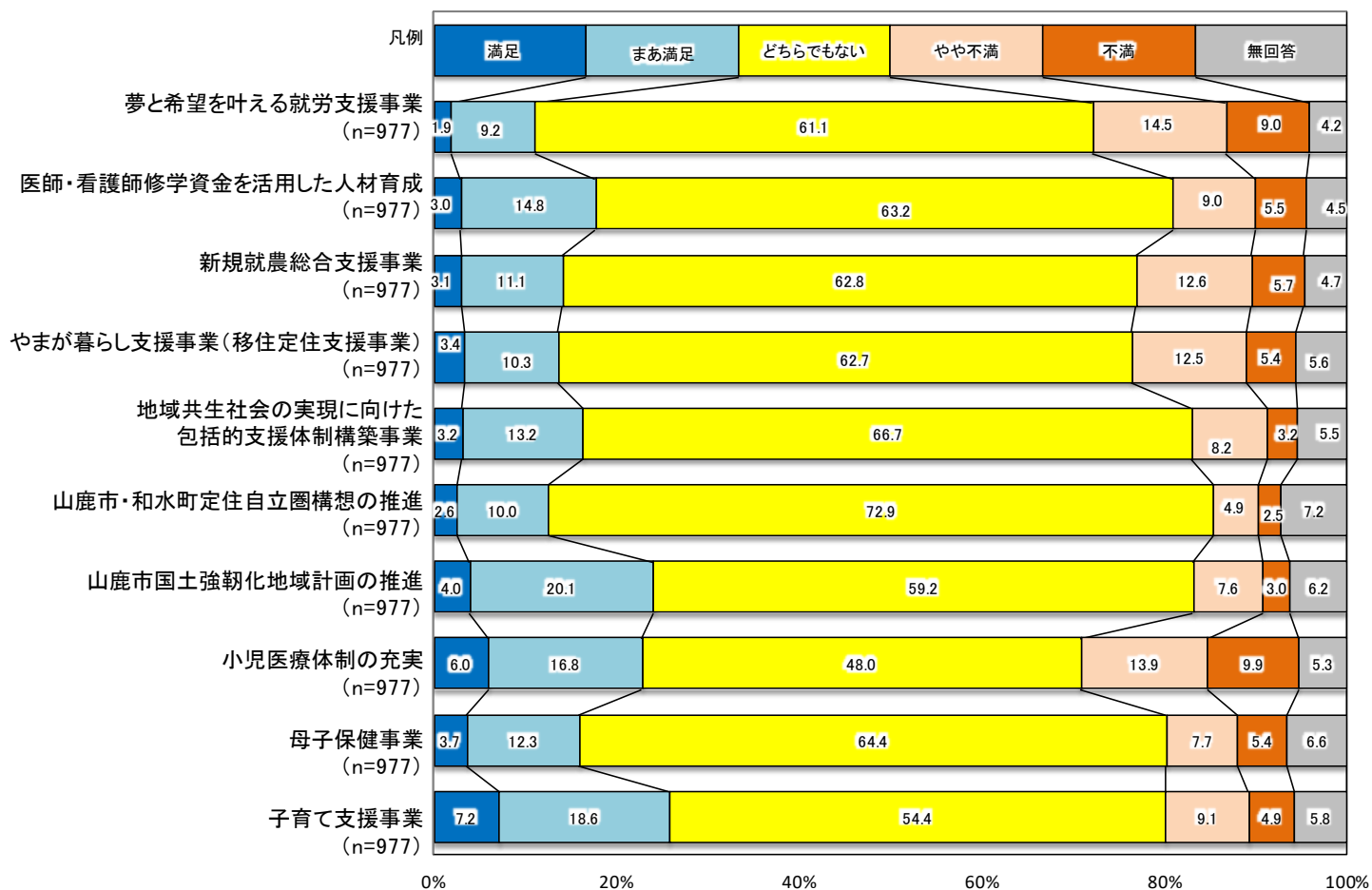
【地区別】



問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度と重要度について

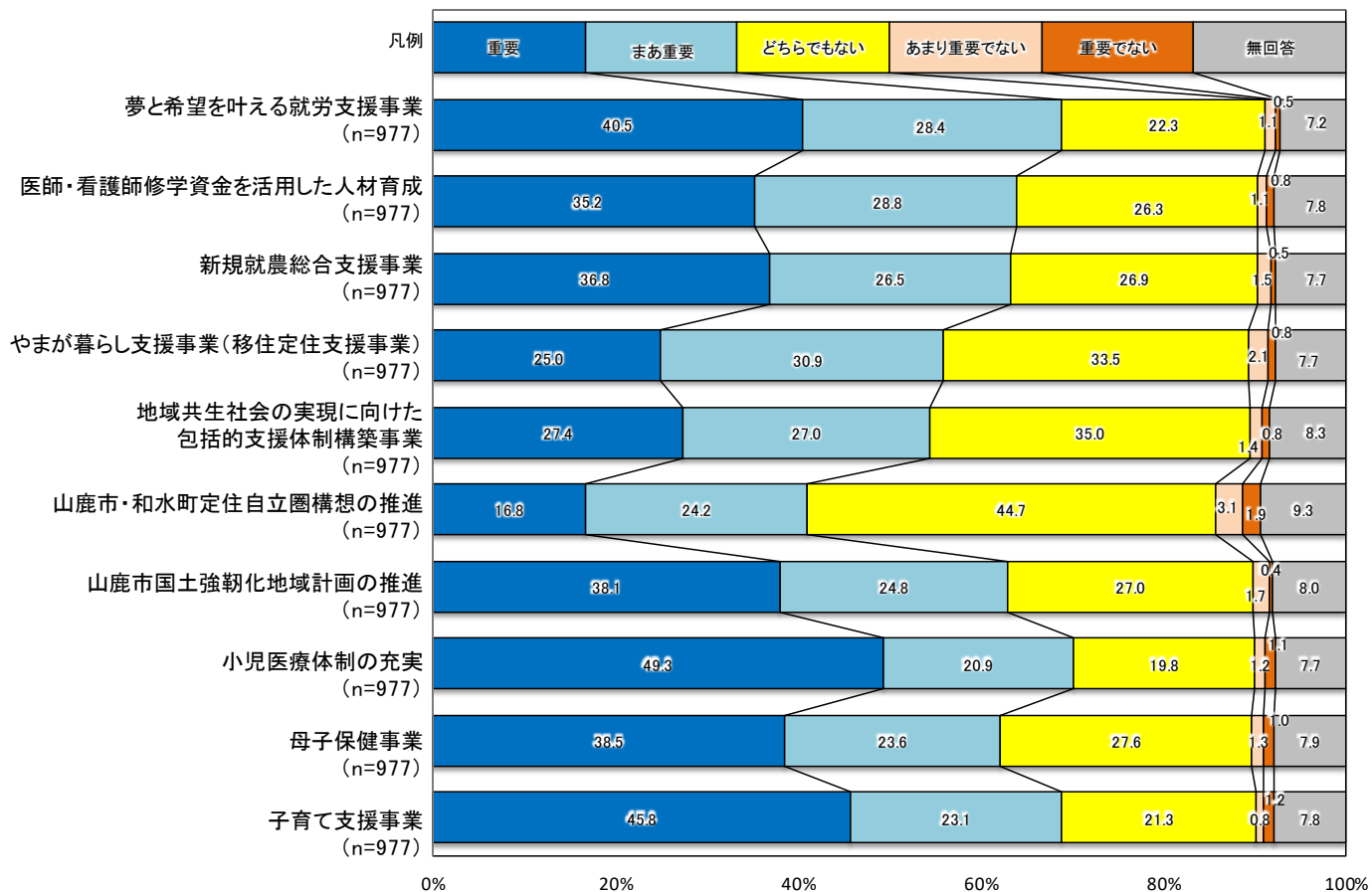
・ 人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の25.8%となっており、これに「山鹿市国土強靱化計画の推進」24.1%、「小児医療体制の充実」22.8%が続く。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「小児医療体制の充実」の23.8%となっており、これに「夢と希望を叶える就労支援事業」23.5%、「新規就農総合支援事業」18.3%が続いている。

【満足度】



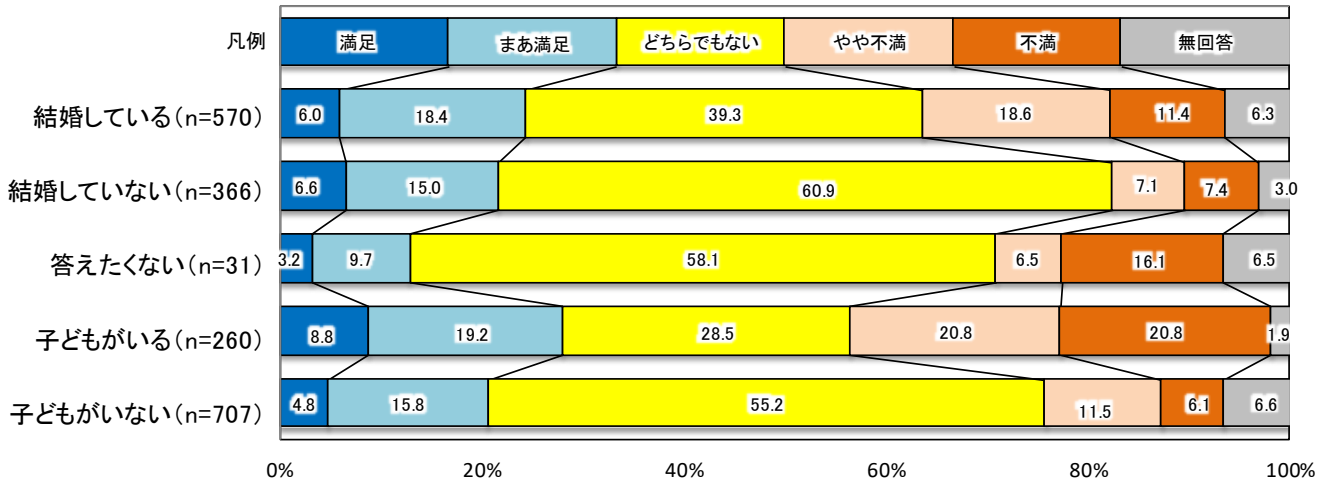
- ・ 人口政策の重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「小児医療体制の充実」の70.2%となっており、これに「夢と希望を叶える就労支援事業」と「子育て支援事業」の68.9%が続いている。

【重要度】



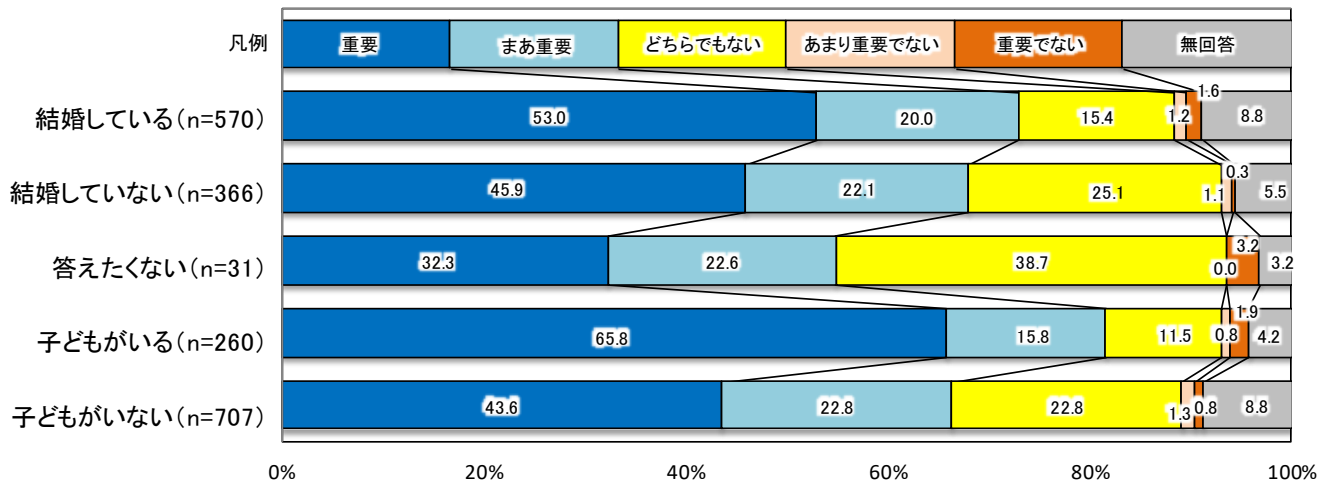
・ 小児医療体制の充実の満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が 28.0%、「やや不満」「不満」の合計が 41.6%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】



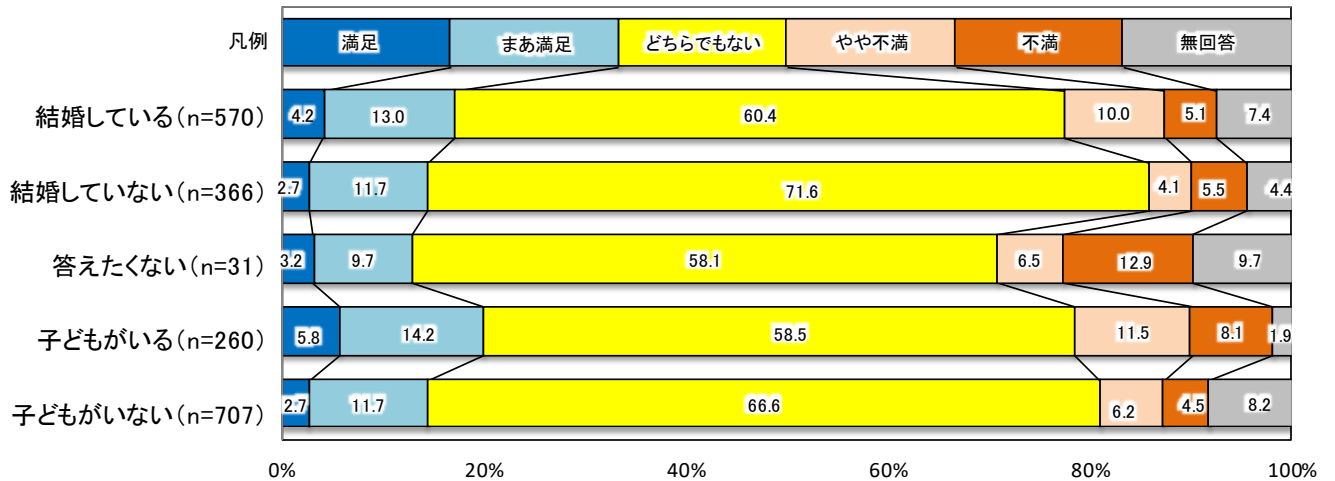
・ 小児医療体制の充実の重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では81.6%と8割を超えて高くなっている。

【小児医療体制の充実×重要度】



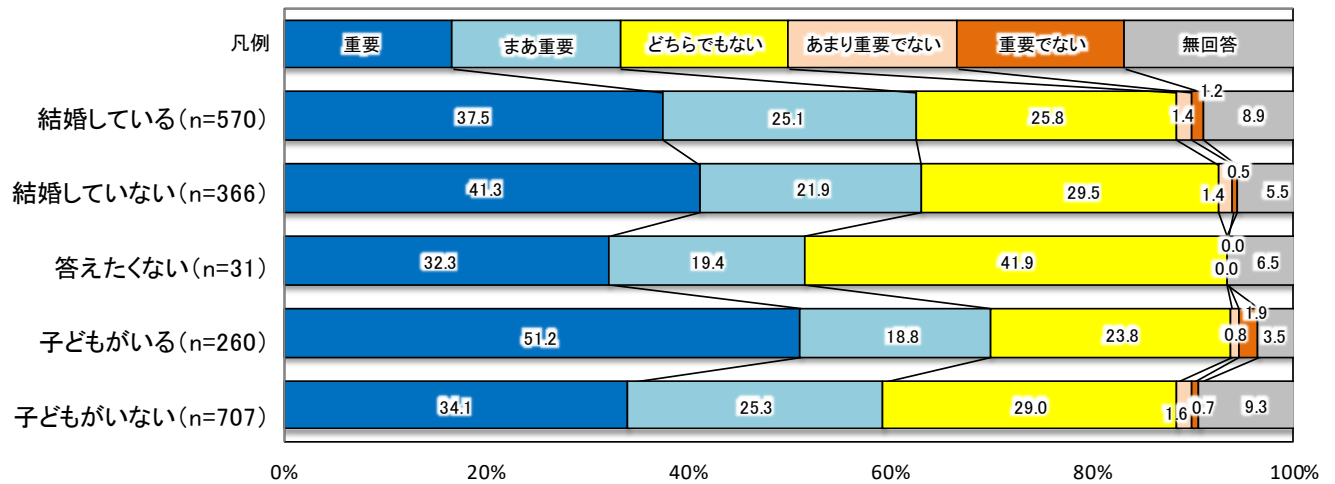
- 母子保健事業の満足度について、全ての回答者で「どちらでもない」が最も高くなっている。「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」と「不満」「やや不満」の割合がそれぞれ2割を占めている。

【母子保健事業×満足度】



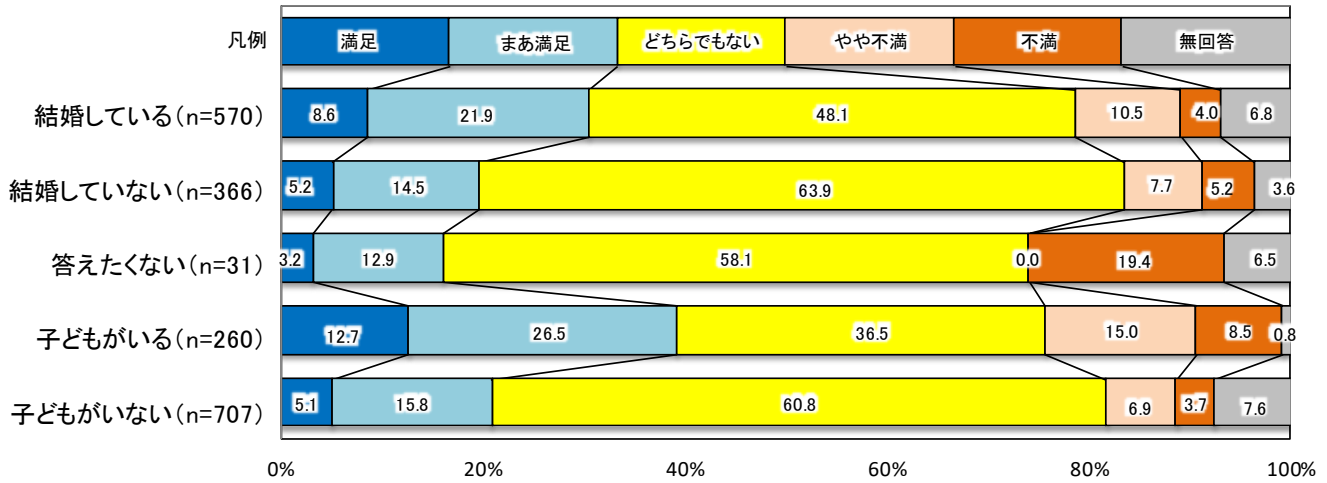
- 母子保健事業の重要度について、「答えたくない」を除く全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では70.0%と高くなっている。

【母子保健事業×重要度】



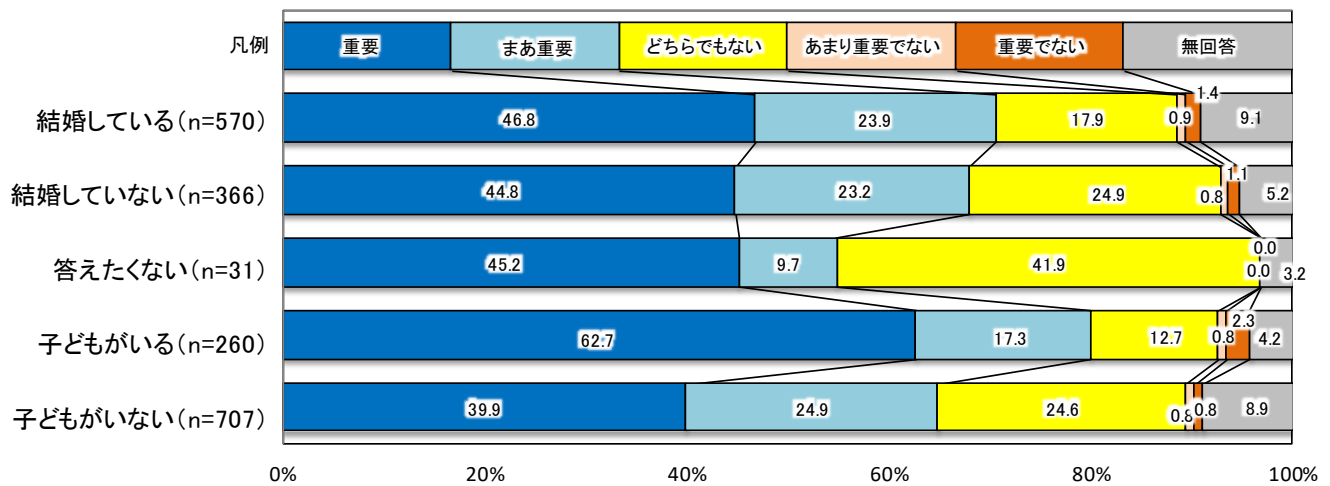
- ・ 子育て支援事業の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」39.2%となっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が6割を占めている。

【子育て支援事業×満足度】

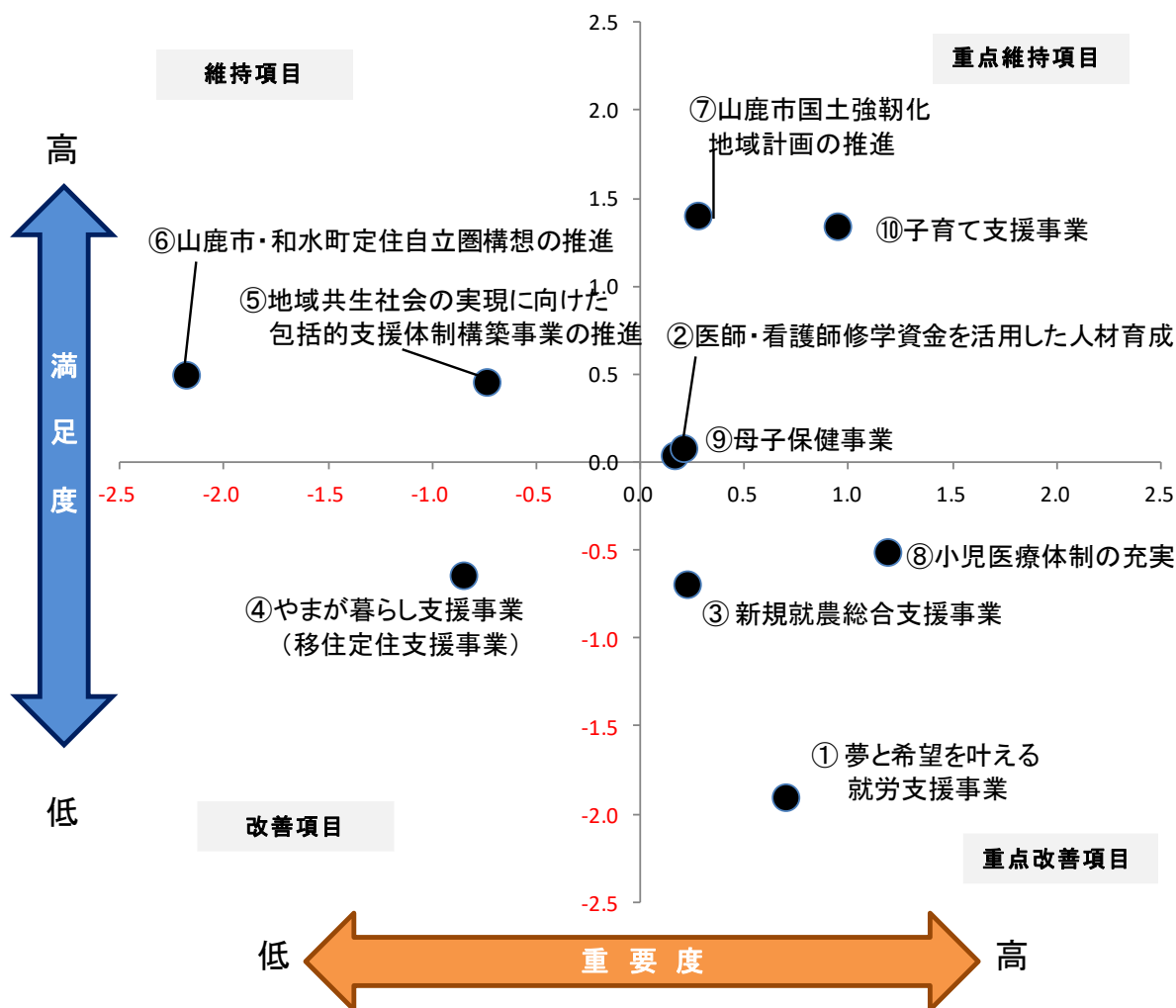


- ・ 子育て支援事業の重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっており、特に「子どもがいる」では80.0%と高くなっている。

【子育て支援事業×重要度】



人口政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
⑥山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	-2.174	0.491	維持項目
④やまが暮らし支援事業(移住定住支援事業)	-0.846	-0.648	改善項目
⑤地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	-0.728	0.452	維持項目
②医師・看護師修学資金を活用した人材育成	0.170	0.031	重点維持項目
⑨母子保健事業	0.219	0.073	重点維持項目
③新規就農総合支援事業	0.229	-0.701	重点改善項目
⑦山鹿市国土強靱化地域計画の推進	0.284	1.392	重点維持項目
①夢と希望を叶える就労支援事業	0.701	-1.910	重点改善項目
⑩子育て支援事業	0.952	1.336	重点維持項目
⑧小児医療体制の充実	1.192	-0.516	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

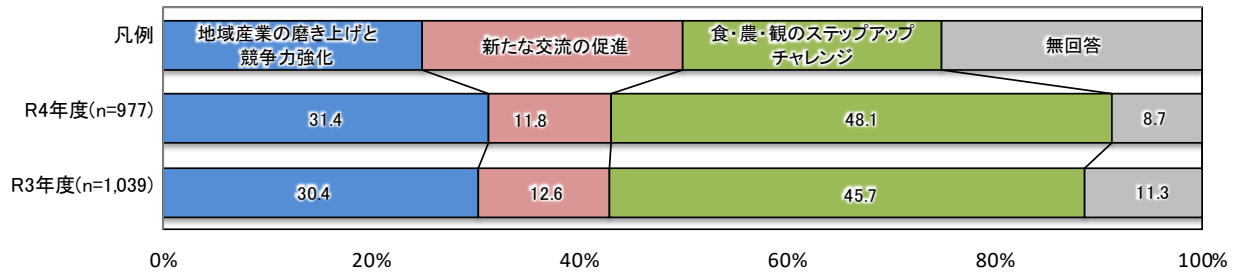
【重点改善項目】 重要度が高いにもかかわらず市民から満足されていない項目。

V. 経済政策について

問12 山鹿市総合戦略における、経済政策でもっとも充実して欲しい取組について

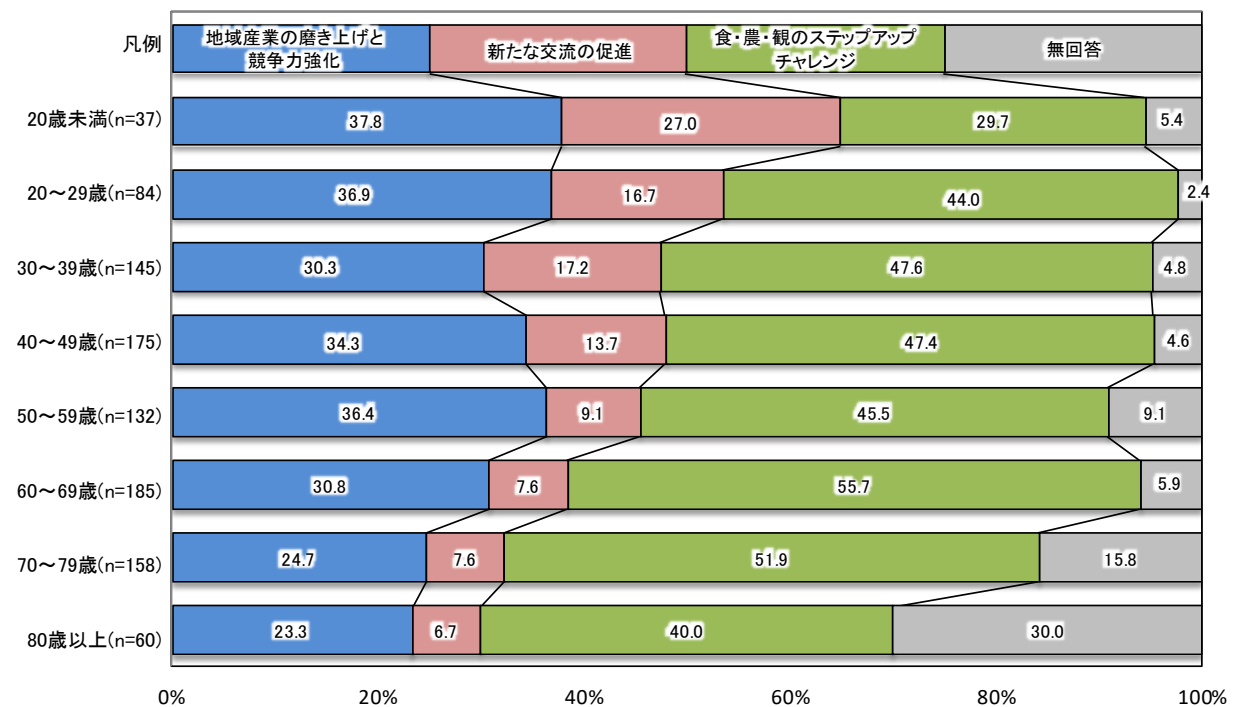
- ・ 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が48.1%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」31.4%、「新たな交流の促進」11.8%となっている。R3年度と比べ大きな差は認められない。

【全体】



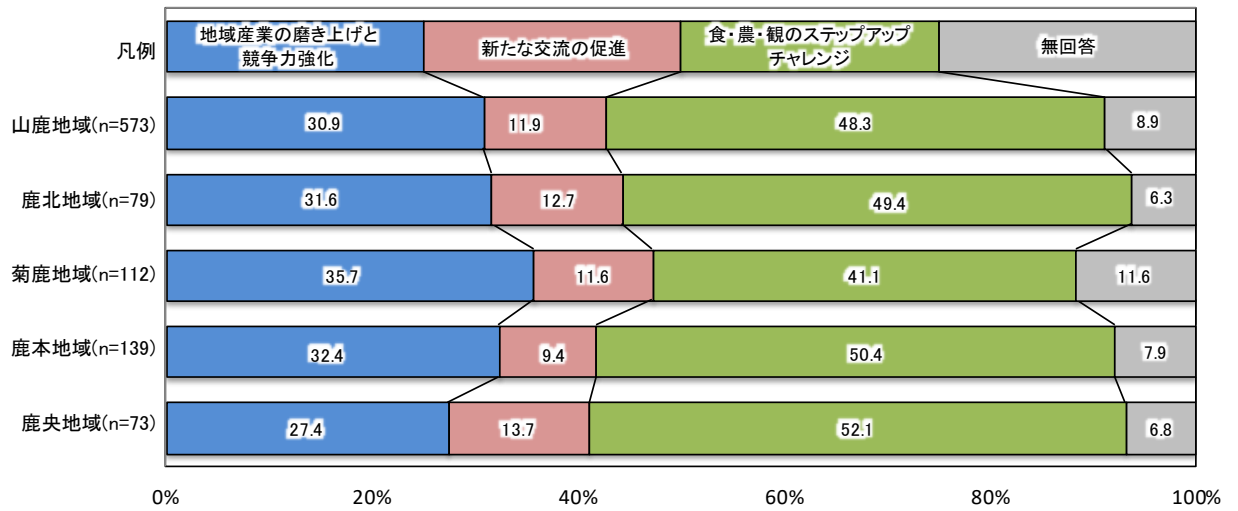
- ・ 経済政策で充実して欲しい取組について、年代別では、60代で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が55.7%と他の年代より高くなっている。また20歳未満、20代、30代では「新たな交流の促進」の割合が他の年代より高くなっている。

【年代別】



- ・ 地区別では、全ての地域で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が最も高くなっている。菊鹿地区では「地域産業の磨き上げと競争力の強化」の割合が他の地域より高くなっている。

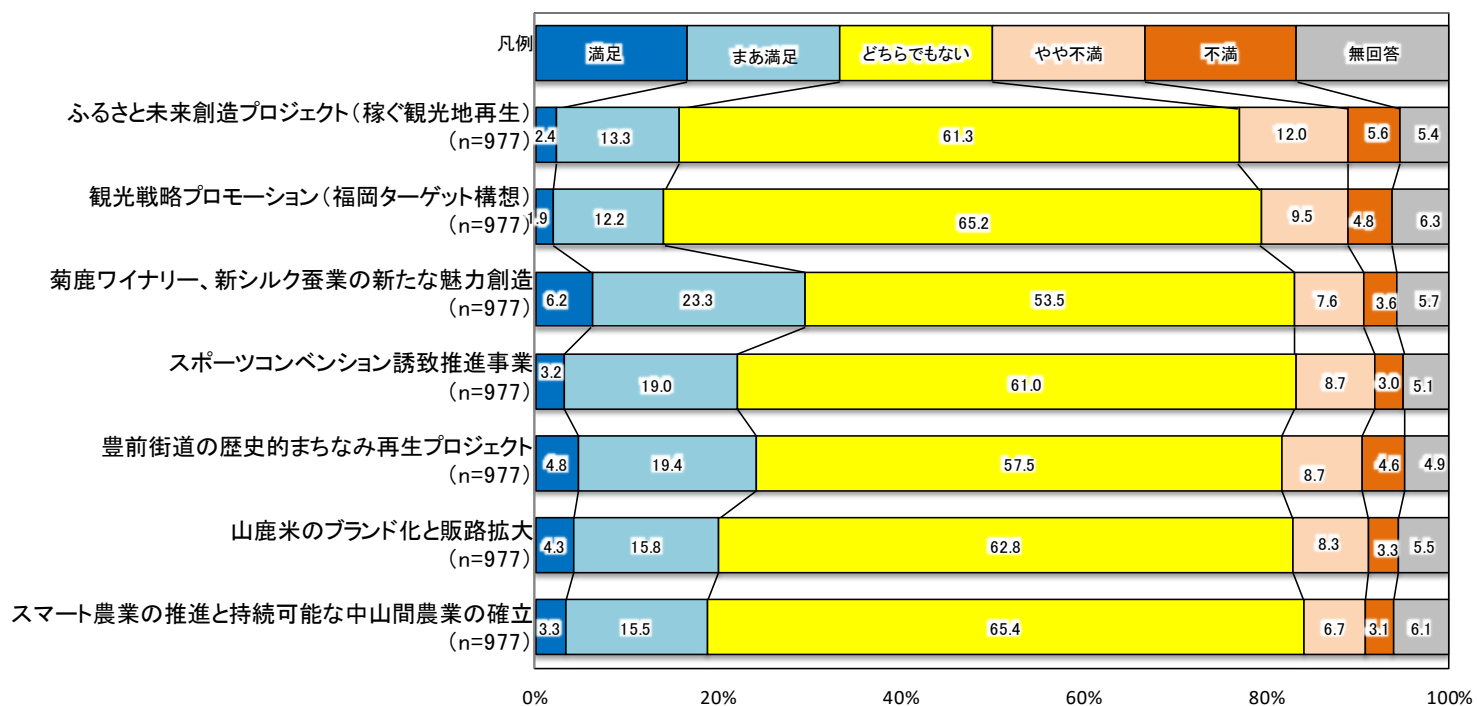
【地区別】



問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度と重要度について

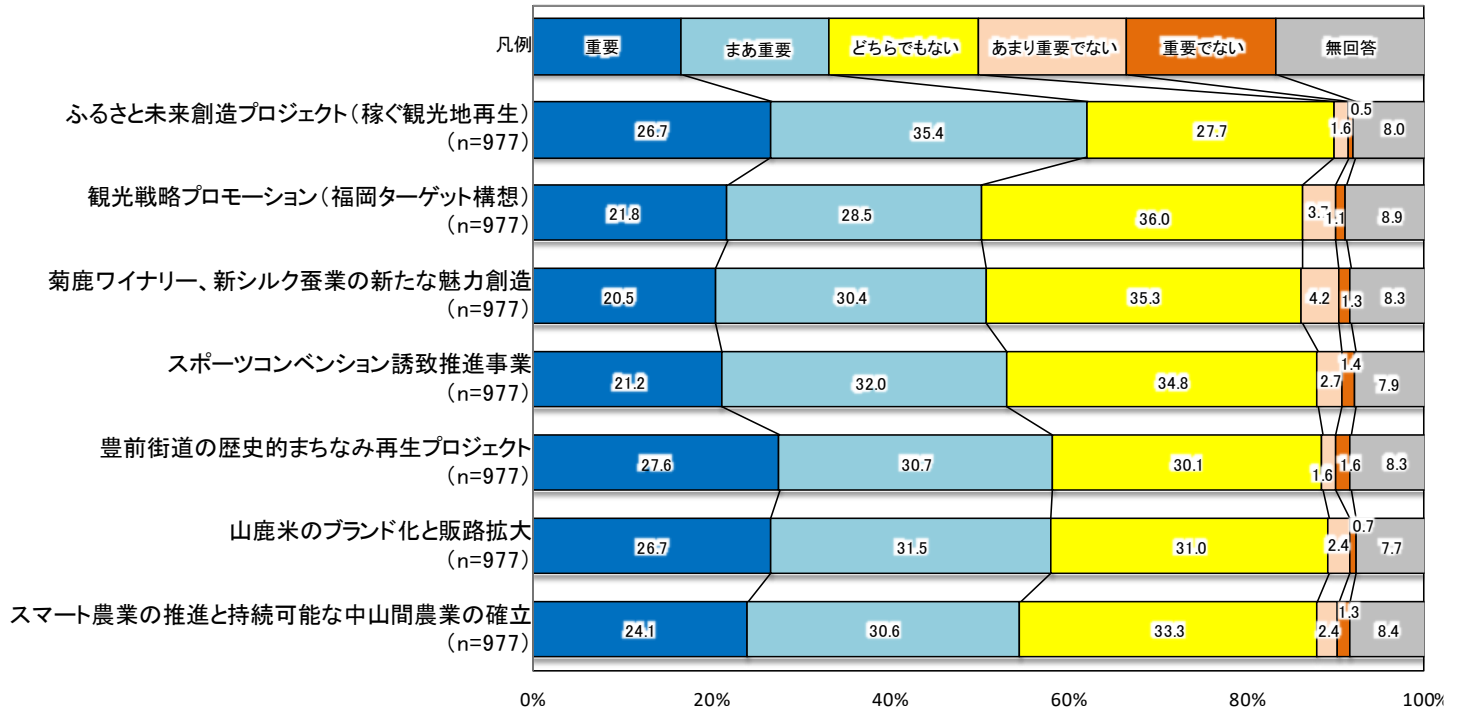
- ・ 経済政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」の29.5%となっており、これに「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」24.2%、「スポーツコンベンション誘致推進事業」22.2%が続く。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」の17.6%となっており、これに「観光戦略プロモーション（福岡ターゲット構想）」14.3%、「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」13.3%が続いている。

【満足度】

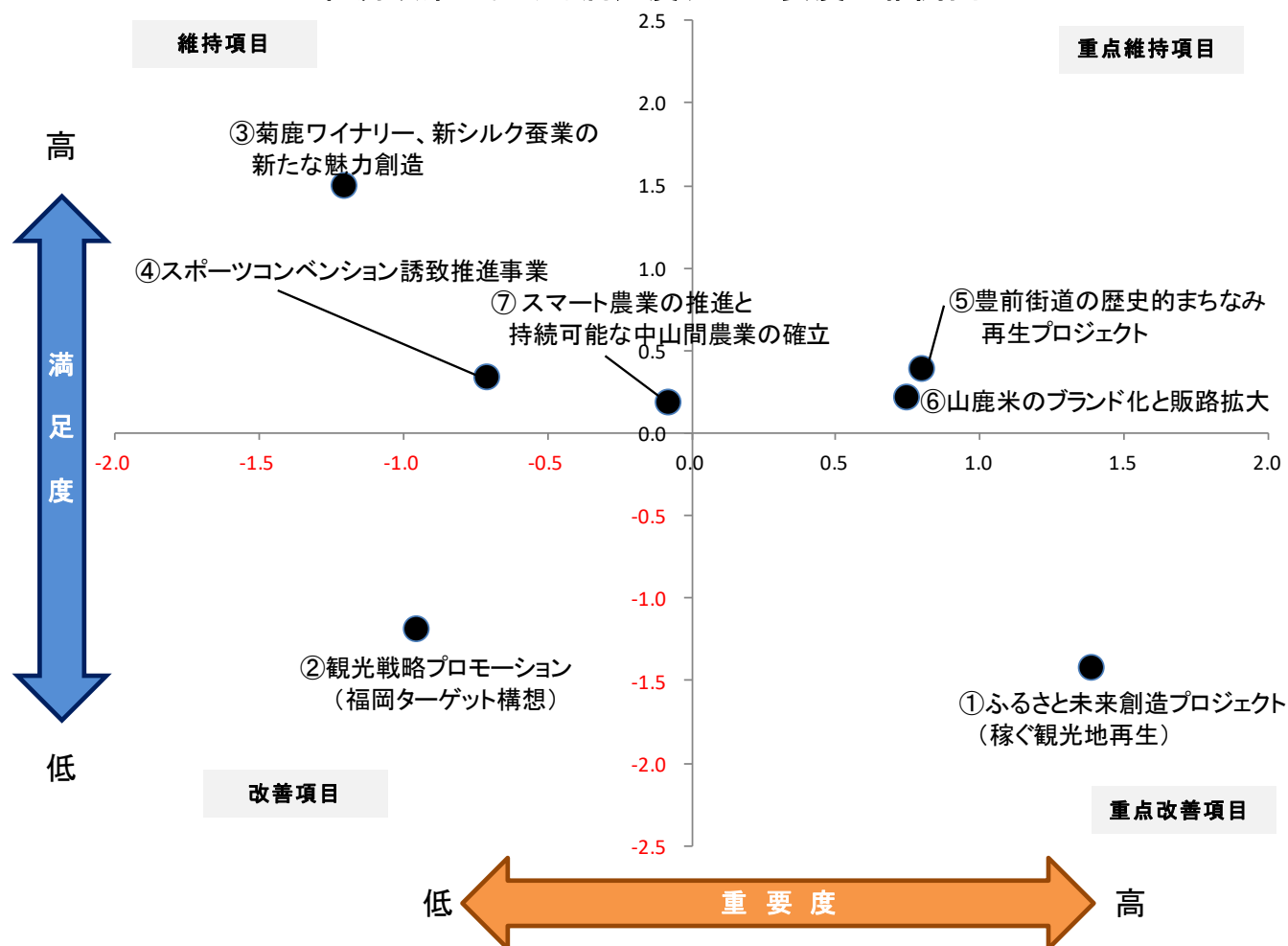


- ・ 経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっている。その中でも「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」は62.1%で最も高く、これに「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」58.3%、「山鹿米のブランド化と販路拡大」58.2%が続いている。

【重要度】



経済政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
③菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	-1.204	1.494	維持項目
②観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)	-0.952	-1.187	改善項目
④スポーツコンベンション誘致推進事業	-0.708	0.340	維持項目
⑦スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	-0.079	0.182	維持項目
⑥山鹿米のブランド化と販路拡大	0.751	0.209	重点維持項目
⑤豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	0.804	0.383	重点維持項目
①ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)	1.388	-1.421	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

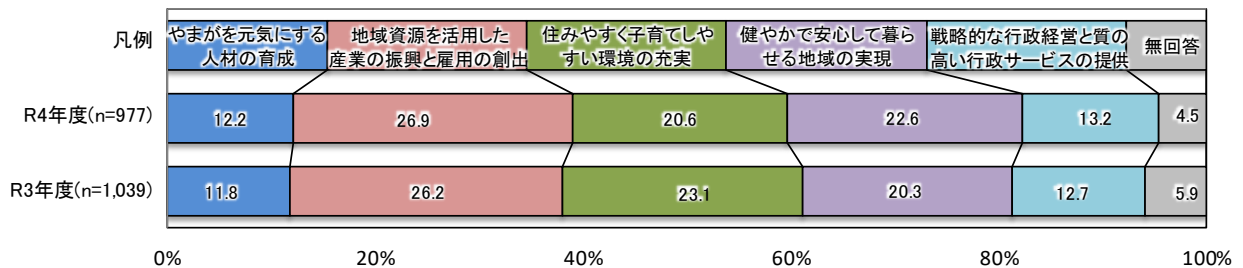
【重点改善項目】 重要度が高いにも関わらず市民から満足されていない項目。

VI. 山鹿市総合計画について

問14 「人輝き飛躍する都市まちやまが」実現のために、もっとも重要と思われるものについて

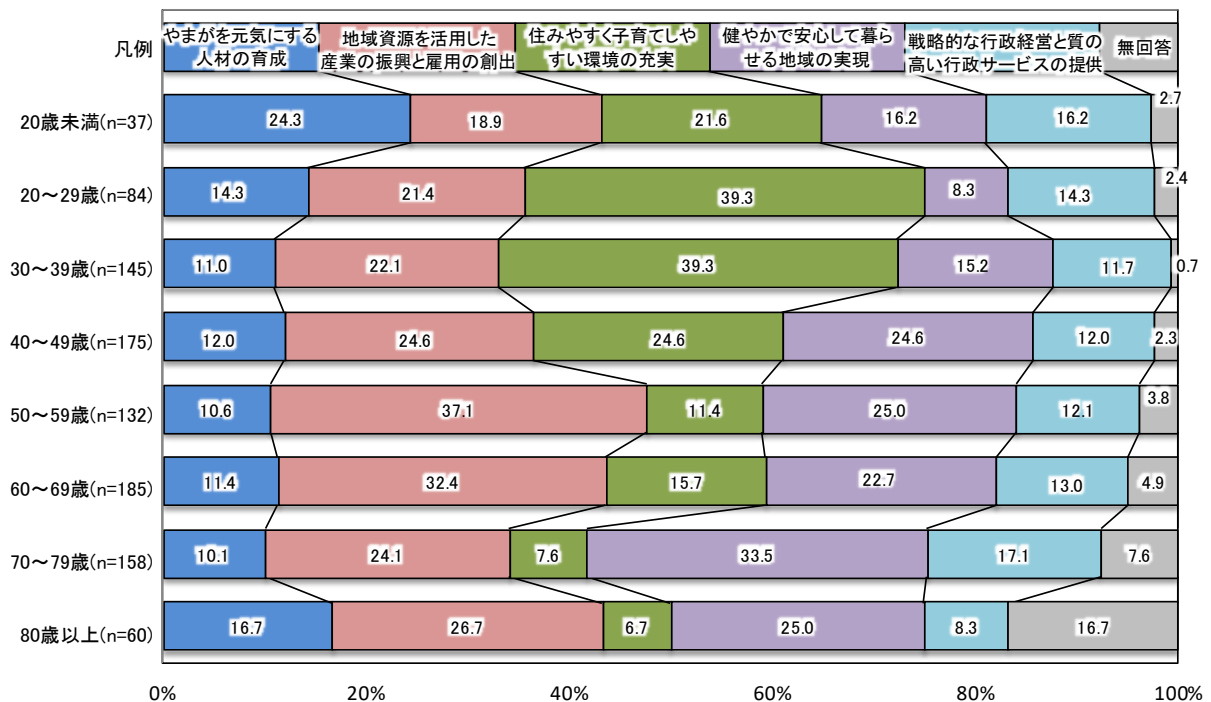
- 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が26.9%と最も高く、次いで「健やかで安心して暮らせる地域の実現」22.6%、「住みやすく子育てしやすい環境の充実」20.6%となっている。R3年度と比べ大きな差は認められない。

【全体】



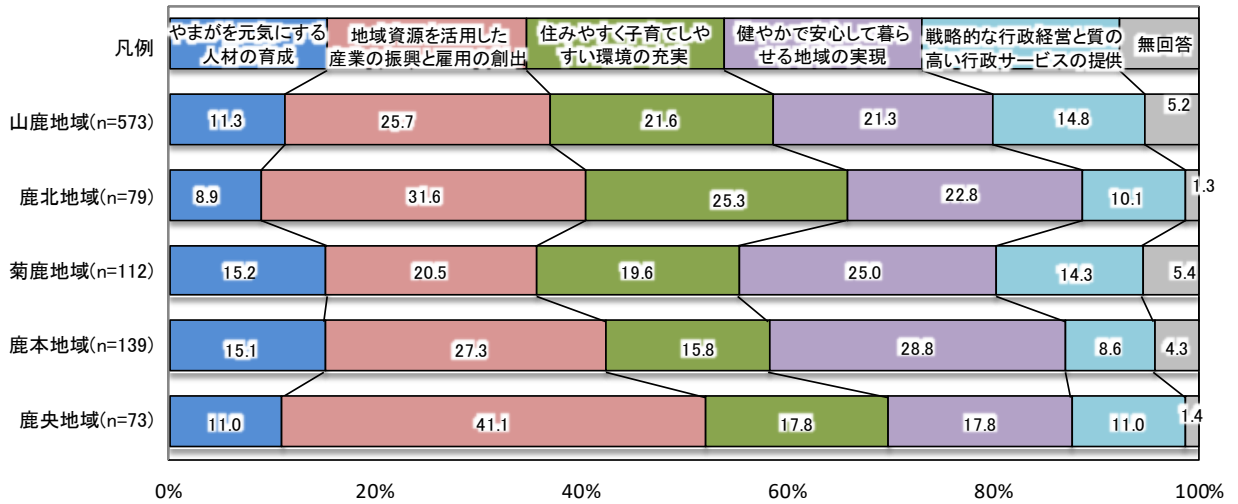
- 将来都市像実現のために重要と思うものについて、年代別では、20歳未満では「やまがを元気にする人材の育成」、20代から40代までは「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、40代から60代、80歳以上では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」、70代では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」の割合が最も高くなっている。

【年代別】



- ・ 地区別では、菊鹿地域と鹿本地域で「健やかで安心して暮らせる地域の実現」が最も高く、それ以外の地域では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が最も高くなっている。

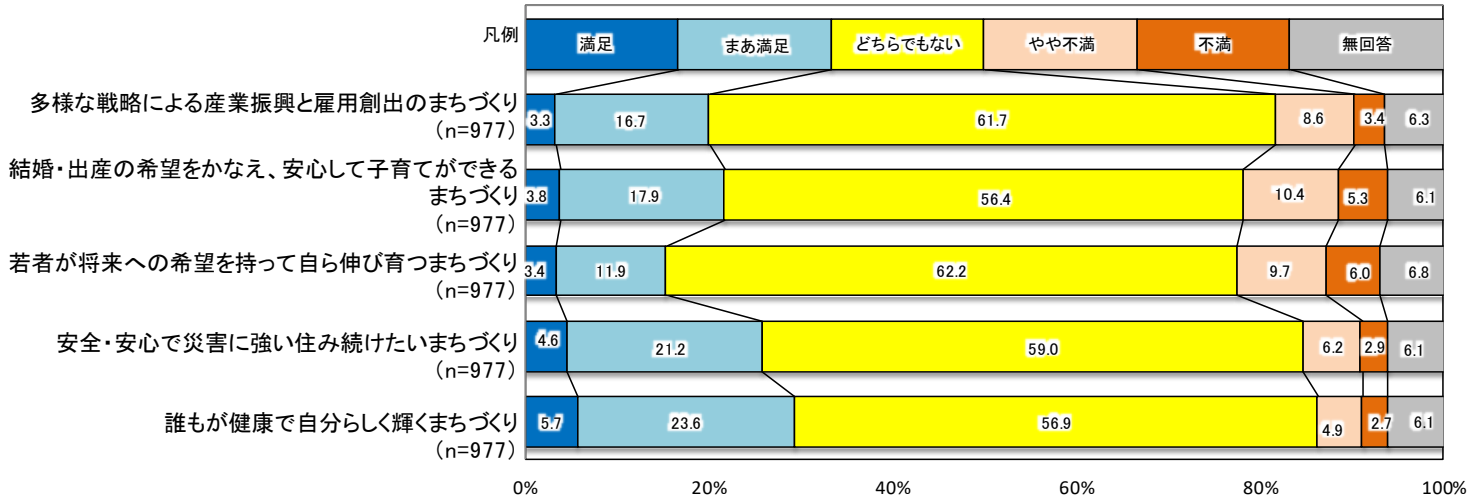
【地区別】



問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度と重要度について

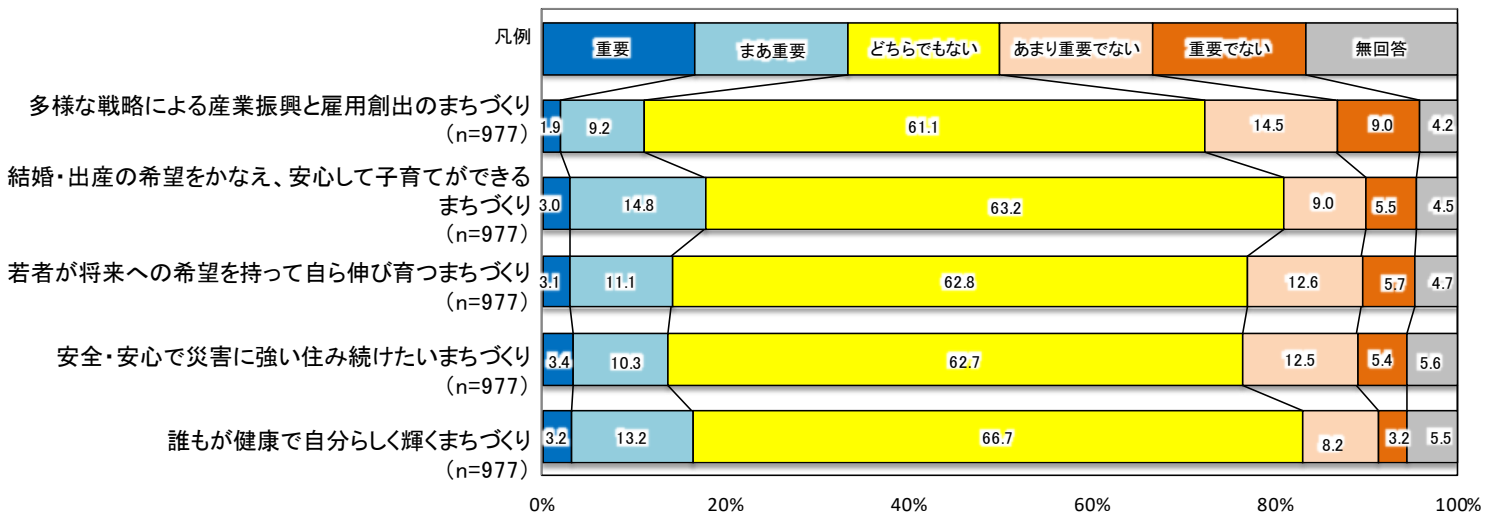
- 総合計画の先導施策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」29.3%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」及び「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」の15.7%となっている。

【満足度】



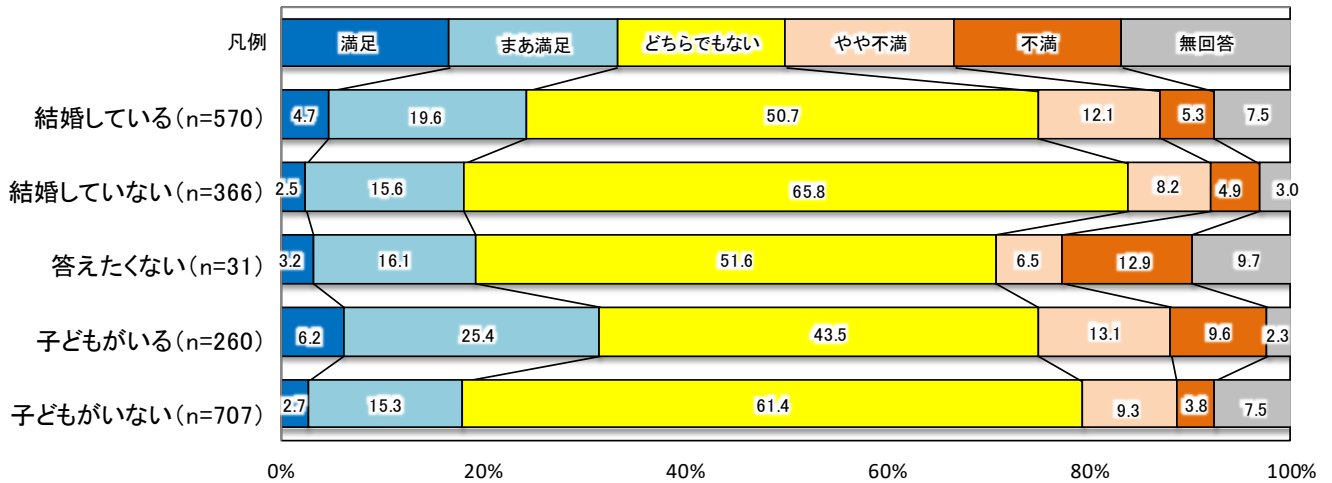
- 重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」17.8%、「あまり重要でない」「重要でない」の合計が最も高いのは「多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり」23.5%となっている。

【重要度】



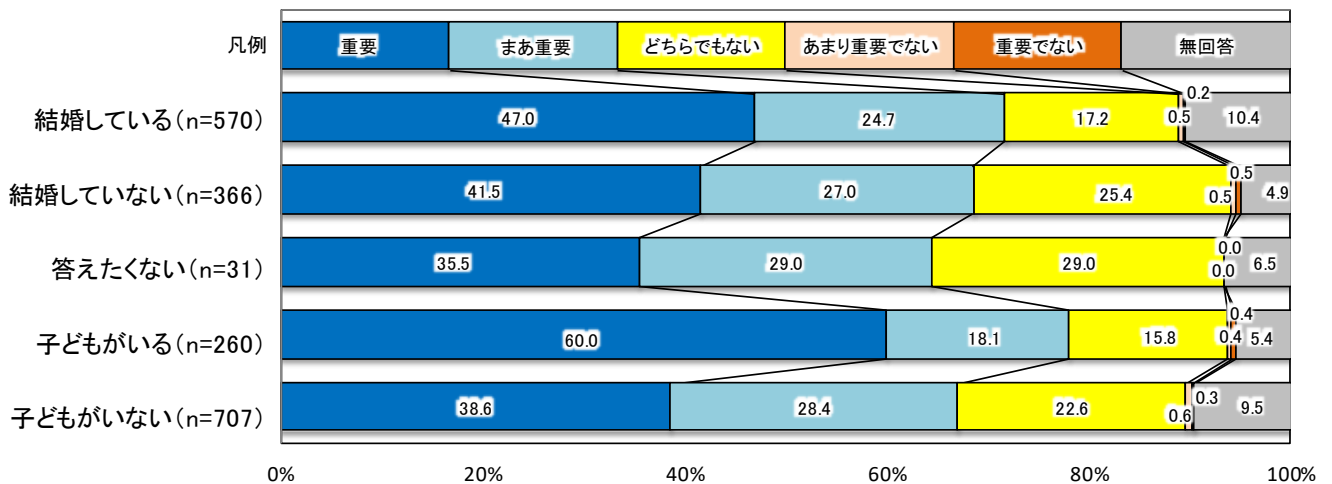
- 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの満足度について、全ての回答者で「どちらでもない」が最も高くなっている。「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」31.6%となっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】

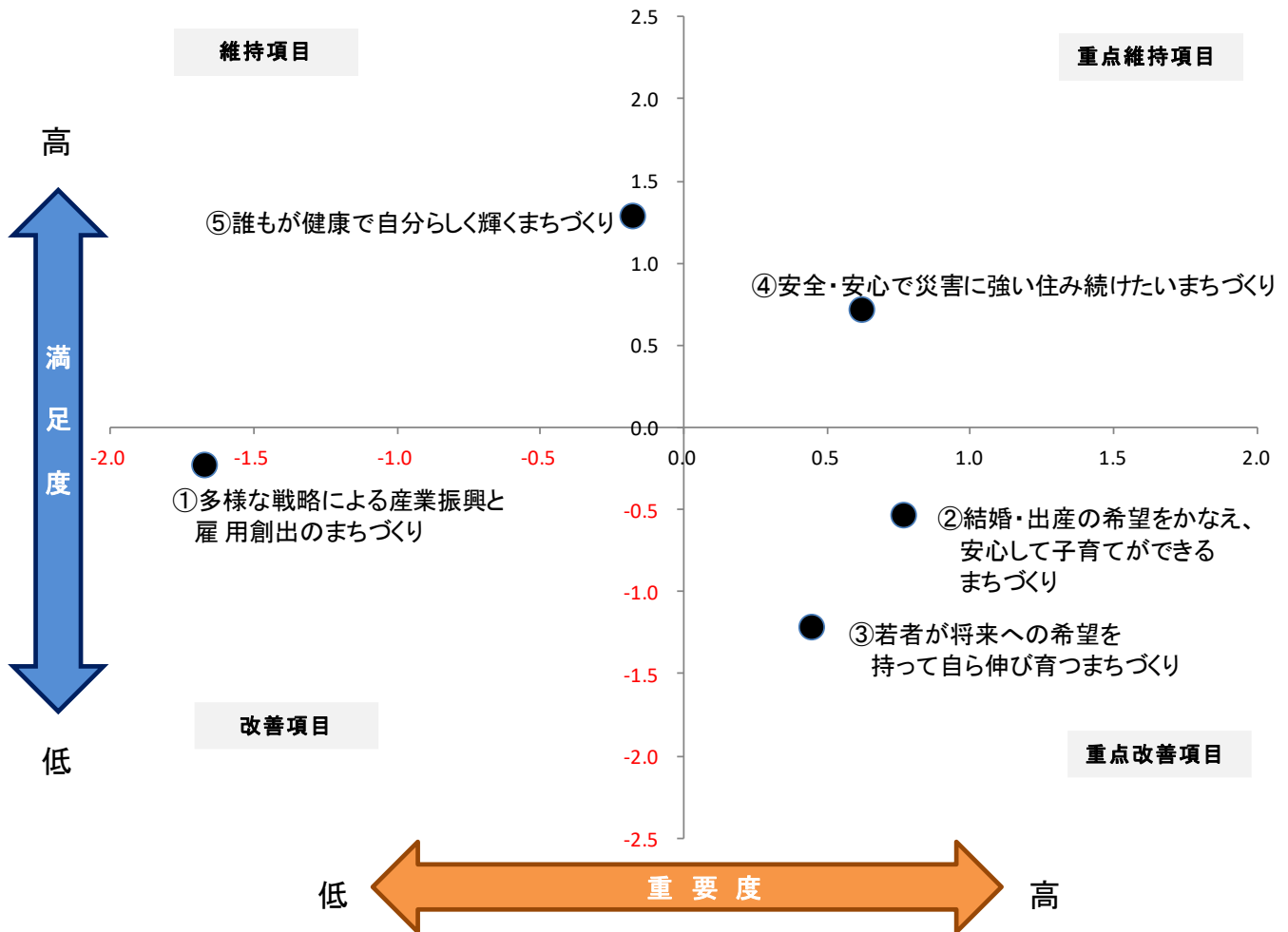


- 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では78.1%で高くなっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】



山鹿市総合計画(先導施策)における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
①多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	-1.669	-0.231	改善項目
⑤誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	-0.174	1.286	維持項目
③若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	0.448	-1.222	重点改善項目
④安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	0.622	0.710	重点維持項目
②結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	0.773	-0.543	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

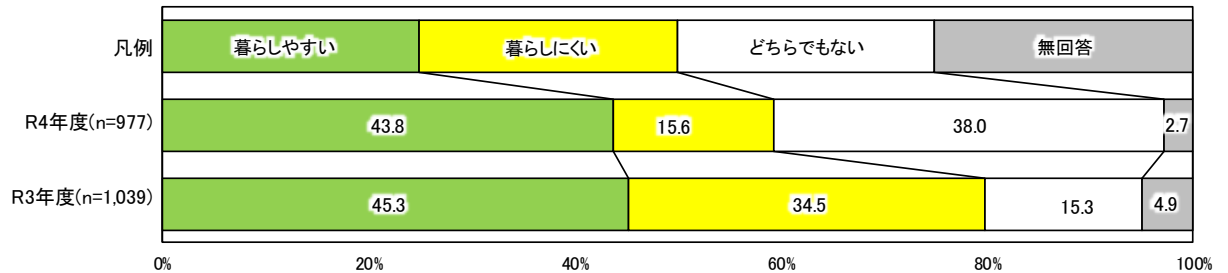
【重点改善項目】 重要度が高いにもかかわらず市民から満足されていない項目。

VII. 山鹿市に対する考えについて

問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか

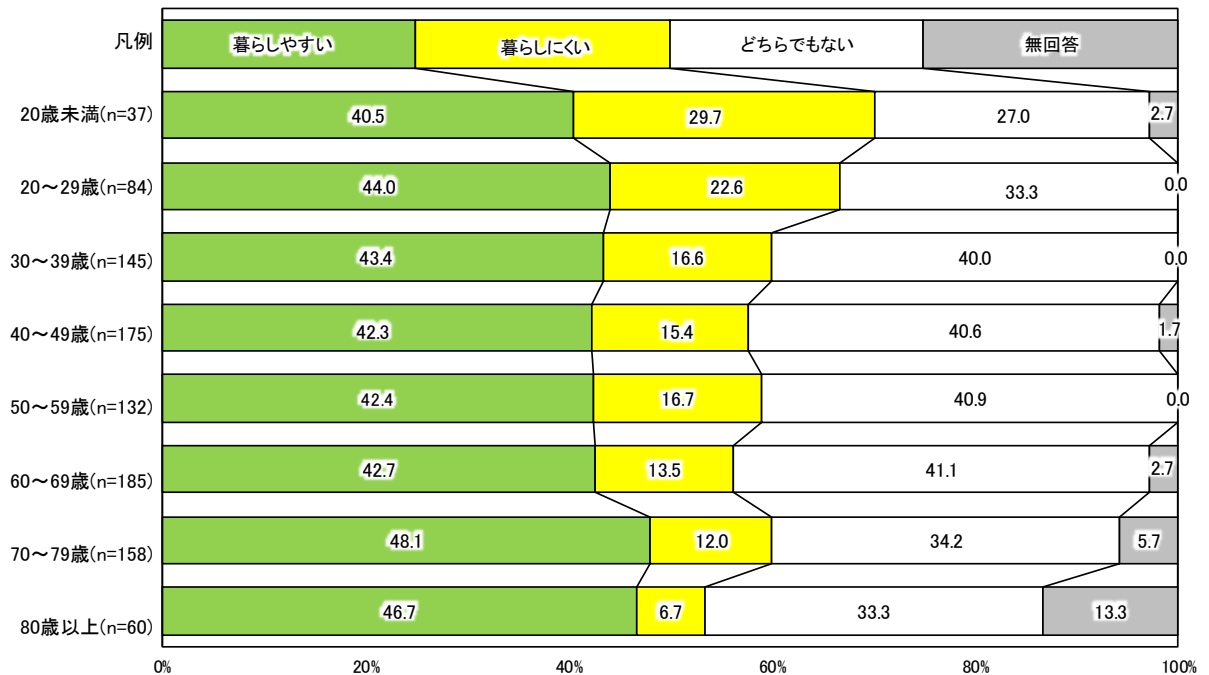
- 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が43.8%、「暮らしにくい」が15.6%、「どちらでもない」が38.0%となっている。R3年度と比較すると、「暮らしにくい」が減少し、「どちらでもない」が増加している。

【全体】



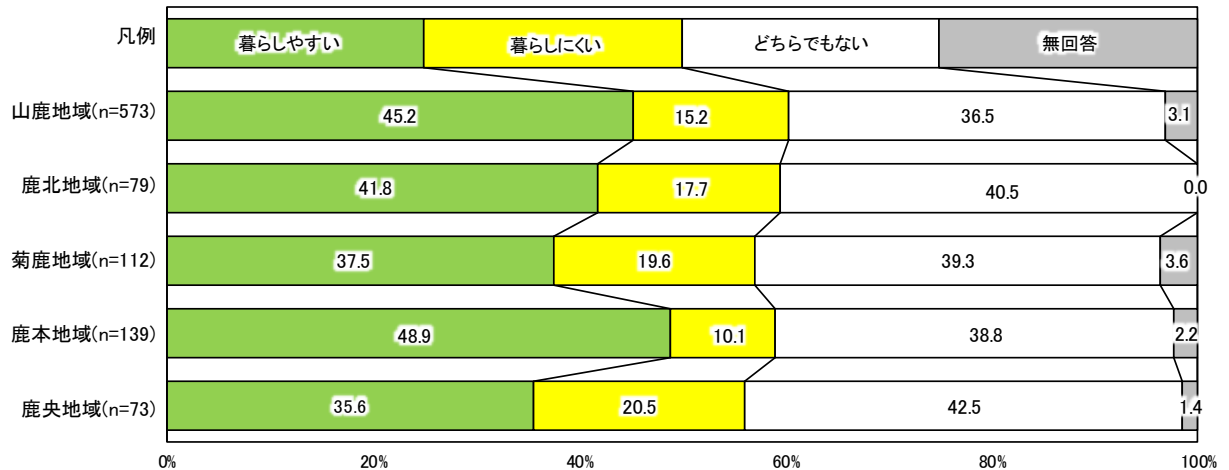
- 山鹿市の暮らしやすさについて、年代別では、全ての年代で「暮らしやすい」の割合が最も高くなっている。「暮らしにくい」の割合が20歳未満で最も高く、年代が高くなるにつれて低くなっていく傾向が認められる。

【年代別】



- ・ 地区別では、鹿本地域において「暮らしやすい」の割合が 48.9%と最も高くなっている。一方、「暮らしにくい」の割合は鹿央地区の 20.5%が最も高く、これに菊鹿地区の 19.6%が続いている。

【地区別】



問17 山鹿市が暮らしにくい理由の自由記述（問16で「暮らしにくい」と回答された方）

- ・ R3 年度調査と同様に、公共交通機関の少なさなど「交通アクセスの不足」による買い物や通院の不便を訴える意見が多くみられた。車なしの生活は考えられないため、加齢に伴う機能低下による免許返納を不安視する意見もあった。
- ・ 「高齢者や子どもが多い割には医療が発達していない」「急患児は山鹿市内では対応してくれない」「ショッピングセンターのような1つのビルで全部の買い物を終わらせるような大きな店が欲しい」「狭い山鹿市に同じような店舗ばかり増えている」「若者の働く場が少ないと思う。賃金が安い」「水道代、税金などが高すぎる」などの意見もみられた。

医療・福祉	年代・性別
母子家庭への支援などもあまり充実しているとは言えません。毎月、本当に生活が苦しい。現状を本当に変えて欲しい。	20代女性
急患児は市内の医療機関では対応が不十分。土曜日保育は、毎週手続きを行わないといけないし、利用するためには面談しないといけない。	20代女性、30代女性
高齢になったら周囲の助けが必要だけど、周囲も高齢のため、どこまで行政が手伝ってくれるか。でも住み慣れたところを離れられない。	40代女性、60代女性
コロナ検査ではたらい回し。2~3日も薬をもらえない。市民医療センターにかかっているにもかかわらず見てもらえない。	60代男性

行政の取組みについて	年代・性別
水道代、税金などが高過ぎる。どこに使ってるのかも分からない。活気がない。	20代男性、30代男性、30代女性、50代女性、60代女性、70代男性、80歳以上女性
正月やお盆などでしか帰省しないがネット環境が悪く帰りたくなくなる。	30代男性
地域によって支援の差があり過ぎると感じる。	40代女性
ゴミ袋が高い。ゴミの分別が難しすぎる。ゴミの選別や回収方法にも困っている。	40代女性、40代男性、60代男性
全てにおいてやっていることが中途半端。市役所職員の意欲が感じられない。	40代男性
5万人規模でこんなアンケートをしているのもどうかと…。もっと暮らしに直結する話をして頂けると助かる。	40代男性

買い物環境	年代・性別
スーパー、病院など近くにないのが不便。安心して買い物ができる店が少ない。	20代女性、30代女性、40代男性、60代女性、80歳以上女性
ショッピングセンターのような1つのビルで全部の買い物を終わらせるような大きな店が欲しい。	30代女性
若者が残りにくい街・若者が行きたい店などが無い。	40代女性
ドラッグストア、大型電気店、パチンコ店など狭い山鹿市に同じような店舗ばかり増えてる。	50代女性

交通アクセス	年代・性別
中心部以外の旧町は移動手段が自家用車しかなく移動が大変。高齢者も病院に行くのに苦労していると思う。	20歳未満男性、30代女性、50代女性、50代男性、60代女性、60代男性、70代女性
電車やバスなどの公共交通機関でとても不便さを感じている。特に電車が通るとさらに住みやすい環境になると思う。	20代女性、30代男性、50代男性、60代女性
渋滞がひどい。熊本市街へのアクセスが悪い。	40代女性
乗合タクシーや公共交通機関は便数が少なくて使いづらい。	40代女性
高齢になった時の交通の便が悪い。免許証を手離したくてもできないと思う。	40代男性、50代女性、70代女性

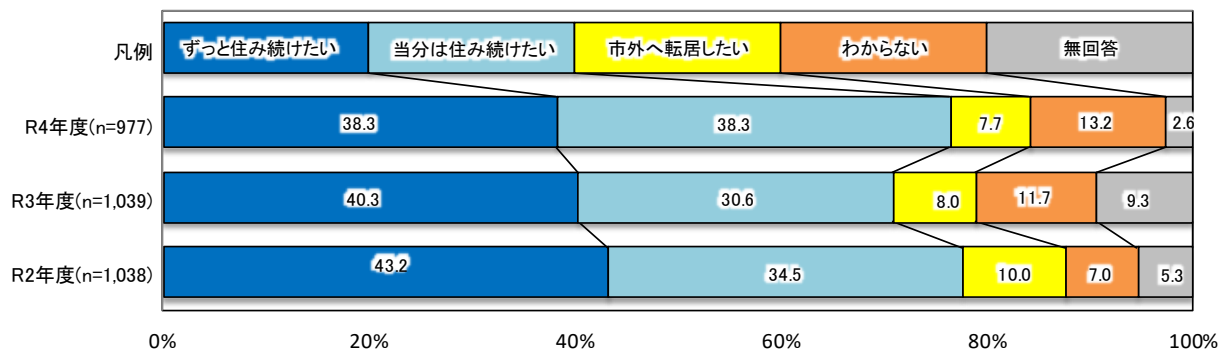
雇用環境	年代・性別
人口減少により様々な所で人手不足になっている（働いてくれる人材、若者の減少と不足）。現状でさえ老々介護の場面を多々見かける。	20代女性
働きたい産業がなく他の都市へ勤務しなくてはならない。交通の便が悪い。若者がここに住みたいという魅力不足。山鹿温泉プラザの再建。商業施設、企業誘致。	20代男性、50代女性、60代男性、70代男性
若者から働きざかりの世代の働く場が少ないと思う、賃金が安い。	40代女性、60代女性

その他	年代・性別
とにかく楽しいと思える場所がない。	20歳未満男性
市議会議員の人が変わらないので、考え方も変わらない。年齢を決めて人を入れ替えて空気の流れをきれいにしてほしい。	30代女性
地区の活動が多すぎる。金がかかる。町内会の運営方法の見直しを。	30代男性、30代女性
お金があるなら出て行きたい	60代男性

問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか

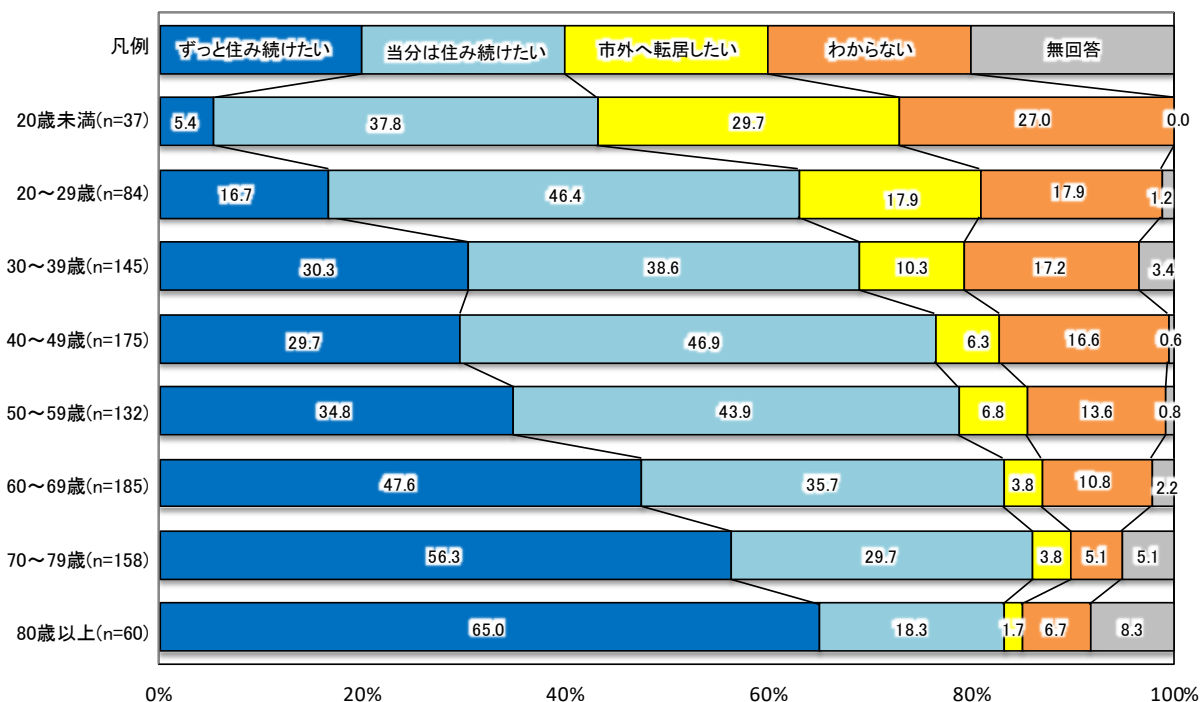
- 山鹿市での居留意向については、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」が76.6%で7割以上の方が住み続けたいと回答している。R2年度及びR3年度と比較すると、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の割合が微増し、「市外へ転居したい」が微減していることが認められる。

【全体】



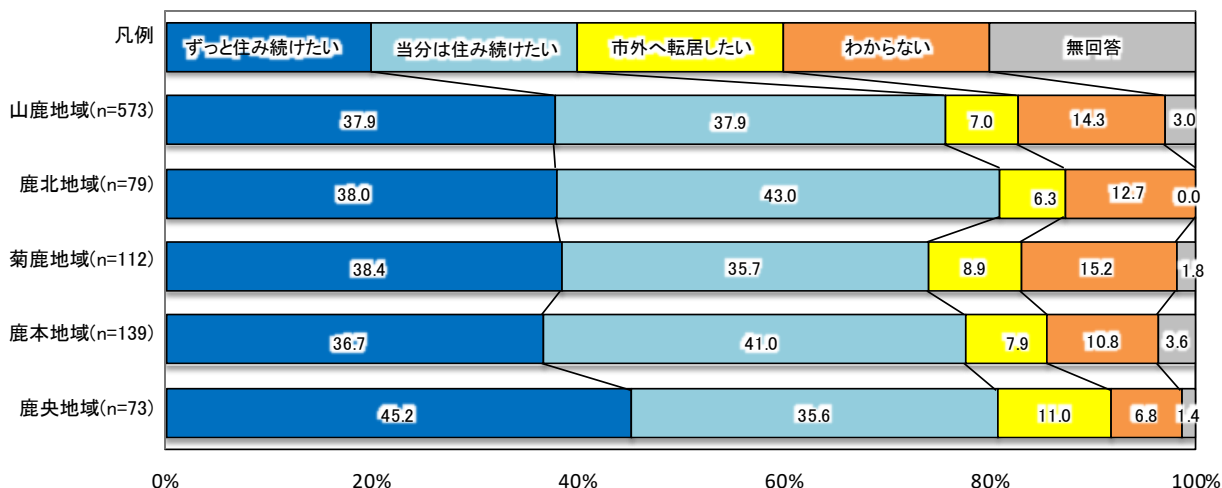
- 今後の山鹿市での居留意向について、年代別では、年代が上がるにつれて「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が高くなっているが、年代が下がるほど「市外へ転居したい」の割合が高くなっている。

【年代別】

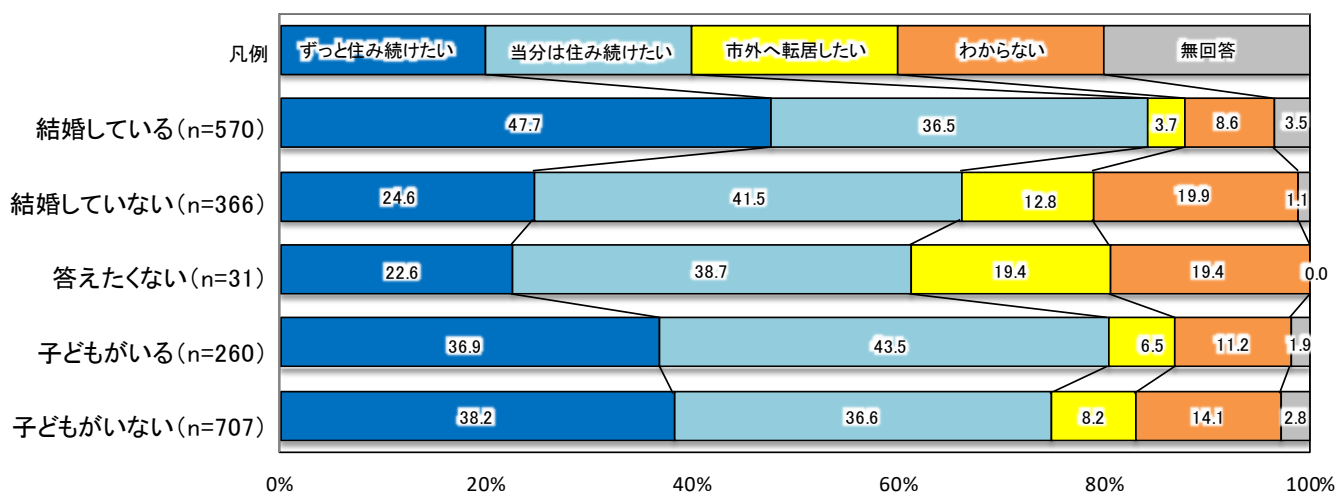


- ・ 全ての地区において「ずっと住みたい」「当分は住みたい」が7割以上を占めている。
- ・ 地区別では、「ずっと住みたい」は鹿央地区の45.2%が最も高いが、「市外に転居したい」の割合も11.0%と最も高くなっている。

【地区別】



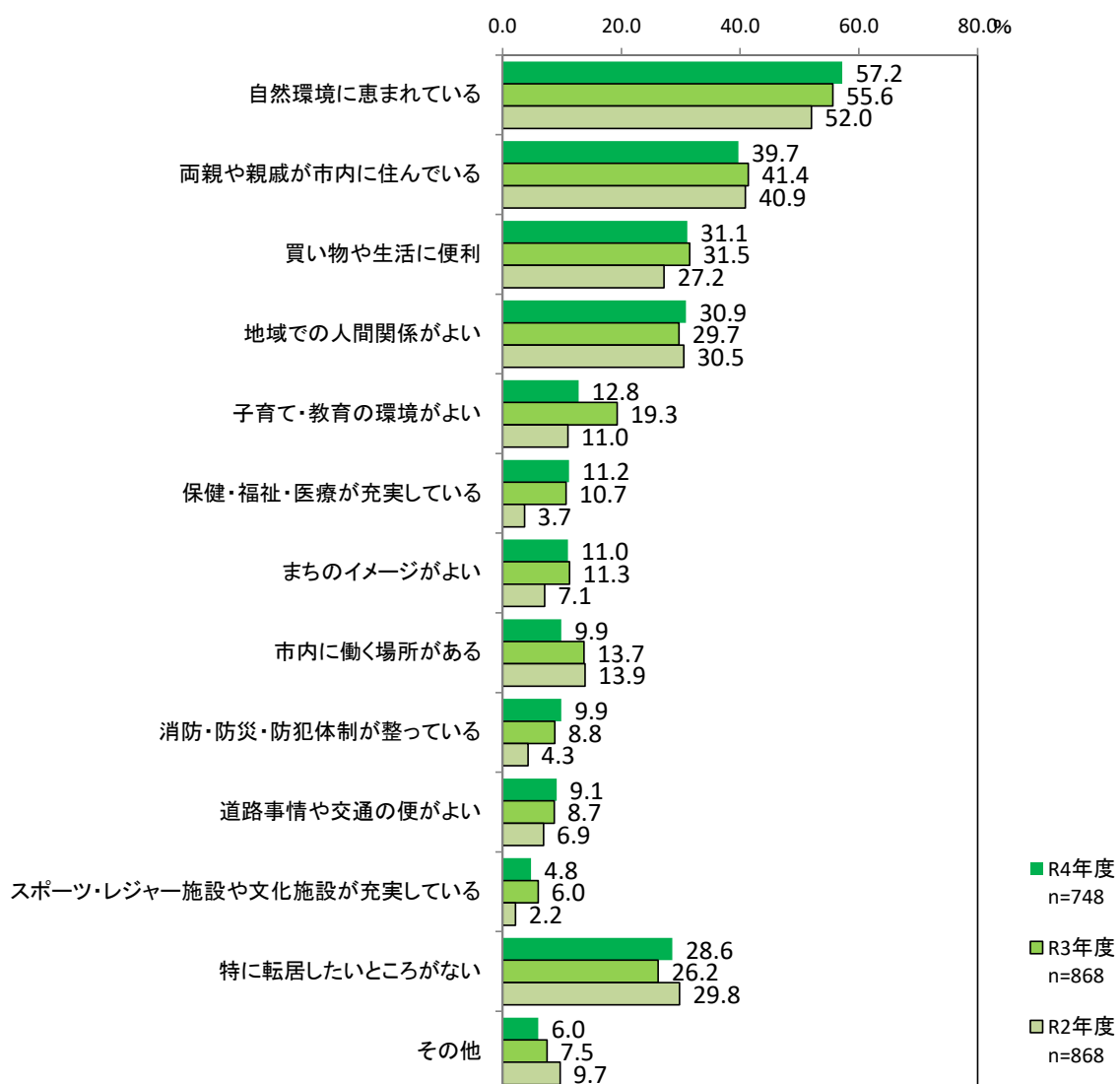
- ・ 山鹿市に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計は、子どものいる方の割合がやや高い。
- ・ 結婚の有無別では、「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計は、結婚している方の割合が高く、8割を超えている。



問18 住みたい理由（複数回答）

- ・ 「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と回答した方の理由として、「自然環境に恵まれている」の割合が57.2%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.7%、「買い物や生活に便利」31.3%となっている。
- ・ R2年度とR3年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が高くなっていく傾向が認められる。
- ・ その他の意見として、「治安が特に良い」「災害が少ないため」「今の生活が大事だから」「高齢だから」「可もなく不可もないといった感じです」という意見があった。

【全体】



問18 市外へ転居したい理由（自由記述）

- ・ 「交通・買い物・医療等の不便」を訴える意見が多くみられる。
- ・ 「活気・楽しみの不足」「進学や雇用環境」「医療・福祉」「行政の対応」を転居理由とする意見もみられた。

医療・福祉	年代・性別
障がいのある方の作業環境が少ない。	30代男性
高度な技術を持つ総合病院が山鹿、菊池付近にはない。	60代男性

活気・楽しみの不足	年代・性別
若い人にとっては遊べる施設が少ないので、遊ぶ施設が多い都会に行きたいと思うから。	20歳未満女性、20歳未満男性、20代男性、30代女性、60代男性
栄えているところ活気があるところに転居したい。	20歳未満男性、30代女性、60代男性
ストレス発散する場所がなく、つまらない。コンビニに行きたいと思っても近くに車を出さないといけな。	30代男性

交通・買い物・医療等の不便	年代・性別
立地及び交通の便が悪い、仕事がない	20歳未満男性
買い物がしにくい。交通の便が悪い。	20歳未満男性
山鹿市には仕事がない。地域での人間関係も良くない。高速も遠く鉄道もなくバスの便も減っている。しっかり見てくれる病院がない。パチンコ店が多く映画館がない。	20歳未満女性、20代男性、30代女性、40代女性、50代女性
パチンコ店ばかりで若い人が遊ぶところが少ない。交通の面でも不便。他の市の人に山鹿のお薦めレジャースポットなどを聞かれても返答に困る。	20代男性
電車が通っておらず、陸の孤島のように感じる。家庭をもって穏やかに暮らすには便利で暮らしやすい街だが、若者には刺激がなく、外へ出たいと感じる。	20代性別回答なし
古い考えの人が多。古い物件が多い割には家賃が高い。	20代女性
車がなくても日常生活が送りやすい交通機関の発達した都会に住みたい。	30代女性、40代女性
高齢になって車の運転が出来なくなったら、もっと都会の方へ移住するつもり。	40代女性、50代女性

旧山鹿市以外の交通商業等が不便。山鹿市の職員が市外に出て行く事で分かる様に魅力が感じられない。	50代男性
---	-------

進学や雇用環境	年代・性別
郊外へ進学したので、転居した。通学に時間がかかり大変だった。家族の送迎の負担もあった。	20歳未満女性
結婚するので転居予定。熊本の企業はパワハラ、セクハラが多く感じ、働きにくかった。	20代女性
資格、技術を活かせる会社がない。市外へ通勤の場合の交通の便が悪い。	20代男性
やはり、金を稼げる所で生活出来るのが一番いい。子どもは幸せのために県外に行かせる。	30代男性
高校まで10km以上あり、子どもの中学卒業と同時に転居予定。	40代女性
大学など若者の流入する施設がない。	60代女性

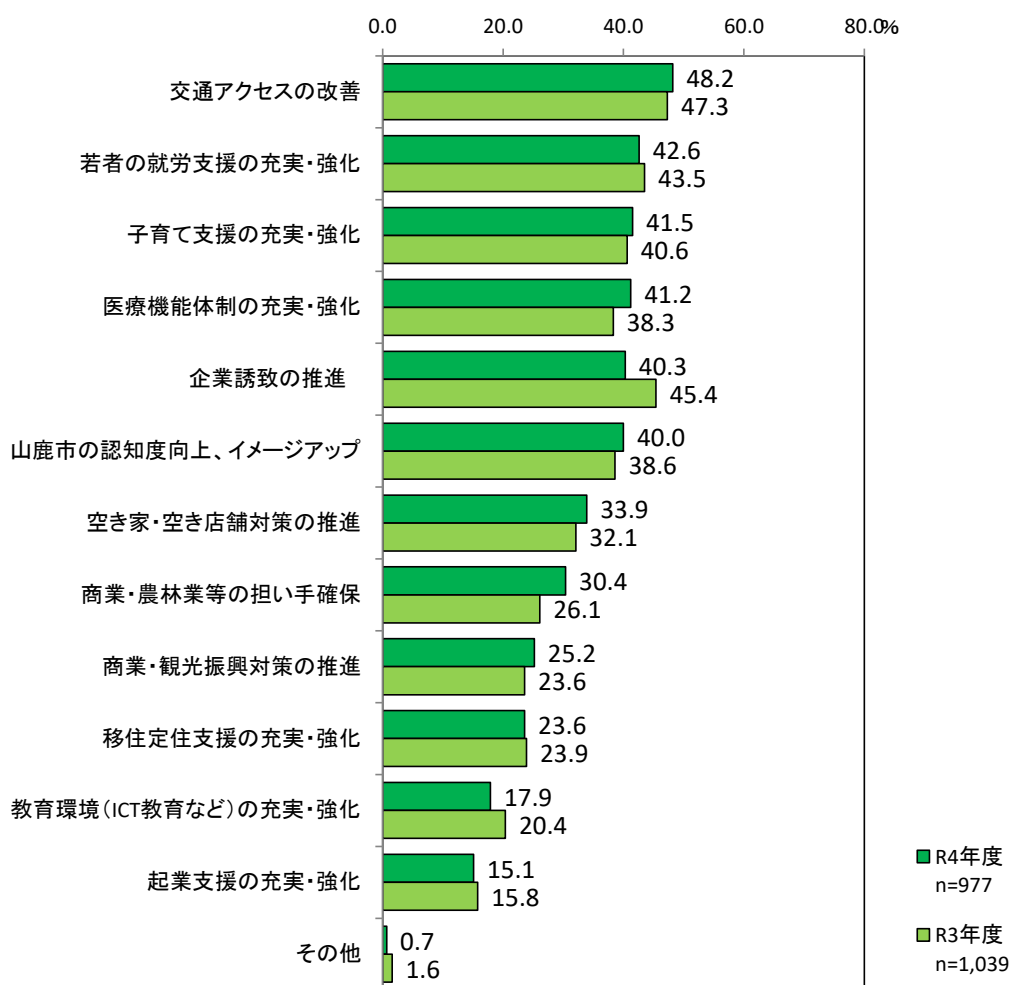
行政の対応	年代・性別
本当に困った時、相談したい時、疑問に思った時、取り合ってくれない。このアンケートを見てもそうだが山鹿市＝山鹿市中心部だと思っているように感じる。	40代女性、 70代男性

その他	年代・性別
TSMCの進出もあるので合志、菊陽、大津方面への転居を考えている。	30代女性
これから結婚を考えると相手の人に住んでもらいにくい。	40代男性
移住先として失敗した。	40代男性
山鹿市は住みにくい。生活できない。物価高でガス、電気も上がる。年金は上がらずかえって安くなる。	60代女性
若ければ転居したい。	70代女性

問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組
(複数回答)

- 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が48.2%と最も高く、次いで「若者の就労支援の充実・強化」42.6%、「子育て支援の充実・強化」41.5%「医療機能体制の充実・強化」41.2%となっている。
- その他の意見として、「失敗しても良いから色々のイベントを考えて欲しい」「利用可能な空き家を撤去し、使用可能価値がある建物を速やかに活かす」「何でも良いので一つこれという強みをつくる(例に子育てでは県内のどこの市町村よりも充実しているなど)」「今後一人一人がやらなくてはいけないと思うことは出来るかぎり、全てやってみる事が大事。良いも悪いも終わって考えれば少しずつ前に進むと思う」「観光や商業農業に力をいれるには20年後の未来を見据えて子どもや担い手育成につながり大事だと思う。人がいなければどんな政策も効果が薄い。人が来る住む町を目指して欲しい」という意見があった。

【全体】



Ⅷ. 総合戦略について（話題別、自由記述抜粋）

問20 今後、充実すべき取組や新たな取組等（自由記述）

医療・福祉の充実	年代・性別
子どもがいない年収が低い家庭への支援が必要。	20代女性、60代女性
障がいのある方が一人暮らしをする時の援助があると助かる。	30代男性
生活保護受給資格の厳格化。出産率向上のための給付金。移住者に対する給付。独居高齢者等に対する衣食住の公的サービス。	40代男性
若い人を迎えるだけでなく年をとっても安心して暮らせる交通や医療などの充実も長い目で見れば若い方の移住を促すものになるのかと思う。高齢者が健康に安心して暮らせる町づくりというアプローチも重視して欲しい。	50代女性、60代男性、60代女性
山鹿で出産子育てするときに必要な医療の充実。受診する医療機関がなく、市外で受診しなければならない地域があり、改善が必要だと思う。	30代女性、60代女性
山鹿市民医療センターに主治医の先生が常勤してもらおうと安心する。	70代女性
さくら湯は高齢者や障がいのある方には階段があり不便。昔のままの温泉の構造だろうが、利用者には不便。湯船につかり、人々と談話し、ある面でリハビリ効果もある。一人暮らしも多くなり、交流の場も少なくなる中、気軽に立ち寄れる場として大事にして行きたいと思う。	70代女性
高齢者でも行ける市の中心部にあるスポーツセンターに、歩行プールを作ってもraitたい。	80歳以上女性

子育て支援	年代・性別
子どもたちが遊べる大きな公園を作って欲しい。	20歳未満男性、30代女性
小児科が少な過ぎる。今は市外で受診しているので、専門の病院があれば山鹿の子育てしてる人は助かる。	20代女性、30代女性
一つだけでもいいので産婦人科があると優しいまちになると思う。	20代女性
母子家庭や、収入の少ない方たちへの支援が必要。これは本当に重要だと思う。	20代女性
子育て世帯が働ける支援があればいい。子どもを預かる場所があると働ける。保育園に預けるのが大変。一人で子どもをみるのは大変。	30代女性
子どもたちが遊べるような遊具を作ってほしい。遊具があっても古くなっているので、綺麗にして欲しい。	30代女性
山鹿市にショッピングモールなど雨でも子どもたちが遊べる所が欲しい。	30代女性
高校の学費の負担が少しでも減れば良いと切実に思う。	30代女性
育休手当がパートの人にも支給してもらえれば助かる。子育てしながら仕事が出るところが、保育園以外にあれば良い。	30代女性

山鹿市内に駐車場が必要。食事に出て行きやすくなると思う。子どもを育てやすい環境が必要。特に学童保育の充実が必要。	30代男性
さまざまな分野(耳鼻科や眼科など)の専門的な小児科がもっとあれば助かる。病後児保育施設も増えればありがたい。	30代男性、30代女性
今後も子育て支援の充実を引き続きお願いしたい(ランドセルの配布、オムツ券、子育て応援券は本当に助かった)。空き家などをリノベーションし、若い世代へ貸し出したり、新しくオープンした店などをSNSで紹介すると若い世代もたくさん来ると思う。	30代女性
小学生の部活動をどうにかして欲しい。小学生本人たちも寝る時間が遅くなり、「早ね、あいさつ、朝ごはん」とかけ離れてしまう。送迎問題もあり、兄弟別々のスポーツはさせられない。	40代女性
小学校が次々に統合され、小さい学校の手厚さ、丁寧さ、地域力など良かった点が薄れそう。部活動が学校内から消えつつある中、親の送迎なしでも体力・知力を伸ばせるようなものがあれば良いと願っている。	50代女性
子育て支援も児童手当も増やすのではなく、給食費を無料にするなど、子ども全体を支援する。このような全国にないサービスなどをもっと考えて欲しい。	60代女性
子育て応援券の配布、ランドセルの無償配布等支援はとても良いと思うが、支えて終わりではなく、アンケートの結果を検証する委員会などを立ち上げて受け取った側が満足できるような制度に築きあげて欲しい。	60代女性
最大のカギは少子化対策にあると思う。今の収入状態では、結婚を考える多くの年代の者が低収入を理由に結婚を諦めたり出産を諦めたりしている。妊娠から親の扶養を離れるまで、前代未聞とも言えるべき子育て支援を行わないと、山鹿市だけでなく日本自体が死んでしまう。	70代女性

空き家対策、遊休地の活用、移住者対策等	年代・性別
私自身移住者だが、移住者支援事務局を通して移住してないせいか、何の支援もなかった。今後移住を促進したいのであれば、分かりやすく誰でも受けられる支援策が必要かと思う。	40代男性
アピールが足りない。空き家をリノベーションして売り出す。商店街の空き家を無料で貸し出し、お店(食べ物・カフェ)などを作ってほしい。歩いて行ける所が欲しい。	50代女性
空き家などの撤去作業の費用を支援して欲しい。	70代女性

雇用対策、人材育成	年代・性別
雇用をもっと増やして、山鹿の人口を増やし、活気ある山鹿になって欲しい。	20代男性、30代女性、40代男性、50代男性
山鹿市内で働きたい場合の求人等が分かりにくい。	30代男性
市全体の企業に勤める人の給料を上げる。	30代女性
もう少し大きな商業施設を作れば、雇用も増えて若い人が定住すると思う。プラザは空き店舗が多く、もう少し活用方法を見直せばいいと思う。	30代女性
若い方が市外へ出ていく事が多いので、若い方が残って仕事をしたいと思えるようなまちづくりを期待したい。また農業従事者の高齢化も心配しており、耕作放棄地等をどのように管理していくのか、荒れていく所の整備をどうしていくのかを心配している。	30代男性、40代男性、60代男性
看護師修学資金の充実をお願いしたい。	30代女性
全国のフリーランスが移住したいと思えるような政策を。	40代男性
高齢者でも元気であれば働ける様に仕事の場を設ける。	60代男性
教育問題で町を見放す者が多く地域としては残念である。もっと行政も考えて欲しい。	70代女性
孫たちの雇用の場を多くして欲しい。病院が偏り、眼科・耳鼻科・皮膚科が少ないと思う。	80歳以上女性

交通アクセスの改善	年代・性別
交通の便が良くなると若者も住み続けたい町になると思う。	20代女性、20代男性、30代女性、40代女性、40代男性、50代男性、50代女性
阿蘇くまもと空港、熊本駅、熊本市内まで30分位で行ける交通手段があれば、人はたくさん集まってくると思う。	50代男性
福岡戦略として西鉄電車を山鹿まで誘致。観光だけでなく高校・大学などの通学も可能となり良いと思う。今すぐ実現は難しいにしても今やらないと後がないと思う。	50代女性
交通の便が悪い。運転をやめた高齢者の為、市内を巡るバスを走らせてほしい。鉄道がなく、高速道路も遠く、新幹線も乗りにくい。高齢者には玉名方面や熊本方面も不便。	70代女性
都市部の高齢者や免許返納者が増え買物 病院等への交通の不便への解消として、学校等で使用している昼間のスクールバスの運用はどうだろうか。	70代女性

免許返納したいと思うが、年金生活の私にとってタクシーを使う出費は厳しい。あいのりタクシーも通っていない。バスもあまり通ってなく、又バス停等に行くのも大変。通院は毎日ではないが、補助でも良いので支援をお願いします。アンケート文章を読むと、人口政策の中に高齢者の事が一行も謳っていない。若者も大事だが、若者にも高齢者にも住みよい市になり早く活気を取り戻して欲しい。	70代女性、70代男性
--	-------------

インフラ整備、環境問題	年代・性別
市中心部の駐車場が少ない。中山間地にも山鹿市としてもっと目を向けて欲しい。今後の人口減少も気になる。	20歳未満女性
衣・食・住の充実。衣…大型チェーン店を導入して欲しい。食…産業や飲食店は充実していると思うが、人口減少による問題は多々あると思う。住…大きな道路等整備されていて良い街だと思う。災害等も少なく住みやすい街である。ネット環境はなくてはならない時代に光ケーブルが通っていない地域があるのはいかがなものかと思う。産業に関しては「温泉」と「山鹿灯籠」が他県でも話題になるため、有名な所にもっと力を入れ発展すれば良いなと思う。	30代男性
とにかく、菊池川、岩野川の水害対策を早急に対応していただきたい。	40代女性
イノシシやシカ等の害獣駆除の人材（ハンター）育成を図って、農作物保全を進めて欲しい。	50代男性
山鹿にある自然、産業をアピールすると共に、人と企業に来てもらえるための道路整備が必要。スマートインター、県立装飾古墳館までのアクセスの改善。	60代女性
井戸水の水質検査をしたら、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素が基準値の2倍近くあり、飲み水として飲めないのが一番の悩みとなっている。このほか、ゴミの分別の細か過ぎて、高齢者世帯の方には厳しい。傘などは解体する、ガラスの枠をはずすなど、分別ルールに困惑した。ゴミの分別の方法やルールを考え直してほしい。又、水の安全について考えていただきたい。	70代女性

企業誘致	年代・性別
企業誘致を推進し、よりよい「まち」を作り上げる事が「選ばれる山鹿」になっていくと思う。まちの雰囲気、さまざまな支援、働く場所などを拡大していくこと。	20歳未満男性、30代男性、50代女性、70代男性
半導体の企業が山鹿に来ると、人口も増え良い起爆剤になるのかもしれない。	40代女性
まず、住民税を安くし企業の誘致を行う。企業誘致が成功すれば法人税が増え、就業も増える。菊陽町が良い例で、企業誘致が成功し人口も増えている。	40代男性
国道沿いに空き家や空き店舗が目立ち、やや活気がないような印象がある。人気チェーン店等の誘致で活気づけてほしい。	40代女性

観光振興、文化振興	年代・性別
美容や健康の観光地としてアピールしていくのはどうか。温泉、おいしい水、お野菜、お米、自然、サイクリングロード、シルク、八千代座など。山鹿の課題や可能性も答えは山鹿（地元）にあると思うので、しっかり山鹿のことを見つめて、地元の方とのコミュニケーションを図っていくことが大事だと思う。市民が住みやすい、いい街だと感じていけば、移住したい方も増えていくのではないかと思う。	30代女性
スポーツ施設はあるが利用料金が少し高い、少しでも今より安くなれば。	30代男性
他県や他市から来ると図書館がひど過ぎると思う。市役所横の山鹿市民交流センターの図書館は自習席（自習できる場所）が少ないし、他の市民センターは貸出図書や蔵書が少ない。自習室を作って欲しい。	40代男性
アプリなどを活用し、自分の好きな時に参加体験してもらい山鹿の魅力ある特産物のプレゼントや宿泊プレゼントなどがあるキャンペーンを展開すれば良いと思う。アプリの活用で山鹿の人しか知らない穴場のスポットを巡れるイベントに参加してみたい。	40代女性
山鹿と言えばこれというB級グルメを考えてはどうか。阿蘇の赤牛井や宇都宮の餃子、福岡のもつ鍋みたいに。わざわざ食べに来たくなるような、ここでしか食べられないものを考えてみる。	40代女性
もっと観光、買い物、おみやげ物などのイベントを増やすべき。コロナの中、千人灯籠が出来ない分、それだけじゃない何かを持つべきだと思う。夏にしか集まらない街にしか思えない。もっと冬にも力を入れていくべき。スイカの産地名にしても山鹿ではなく植木が有名になっている。新しい観光名所をもっと発掘するべきだと思う。	40代女性、50代女性
不動岩は、山鹿の大事な観光資源だと思う。向かって左側にある、採石場群が著しく景観を損なっていると思う。災害にも弱いような印象がある。	40代男性
有名な観光地にならなくても良いが、もう少し他県にアピールできるように、山間部を利用したレジャー施設などが出来たら良いと思う。最新の電動バイクやアシスト自転車等を利用した施設ができれば面白い。	60代男性
有名デザイナーが山鹿灯籠アドバイザーに就任する等、山鹿市は視点がおかしいと思うことがある。山鹿灯籠はしっとりとした伝統のお祭り（おどり）でありイメージを壊してしまった。とても残念だった。	60代女性
肥後国衆一揆の主戦場である城村城跡地の整備公園化。平山温泉と日輪寺の間に立地しているので観光対策にもなると思われる。方保田東原遺跡の発掘調査。遺跡の規模は大きいのに宅地などのため発掘できないところが多いので、空地や空家が出たら発掘調査ができるように準備しておく。邪馬台国の可能性もない訳ではない。	60代男性
山鹿は合唱や吹奏楽、運動系の競技など、子ども達が頑張っていて全国レベルだと思う。もっと文化的なことも充実させて素晴らしい文化事業の顕彰事業ができたと思う。	60代女性

観光振興対策の一つとして山鹿市独自の「山鹿遺産」の指定制度を創設する。	70代男性
菊池、玉名、和水町、山鹿（3市1町）の2000年にわたる歴史的な取り組みを活かした連携と人事交流を。	70代女性

地域活性化、中心市街地開発	年代・性別
平日に人が集まる町づくり強化。高校生・大学生などアルバイトができる場所。医療体制の充実、大型ショッピングモールの誘致。他の地域に遊びに行かなくても良くなる。人も来る。	20歳未満女性
とにかく若者が楽しめる施設を作って欲しい。無駄に土地を使っているところが多いので、同じような役割のお店などを減らすことを提案する。	20歳未満男性、30代男性、60代女性
人口を増やすには大きな企業1つだけではなく、中小企業を活気づけなくてはならないと思う。	20代女性
山鹿のアイドルをつくること。ユーチューブのコラボ企画。プレミアム商品券が黒字であるなら、定期的にするべき。ふるさと納税の活用。奨学金の無償化。山鹿に発電所をつくる。	20代男性
農家数が減っているなので、田畑は空いてきている。このため一人など少人数で広い農地を管理できるようにするための支援が欲しい。中山間地域の現状を把握して欲しい。狭い田んぼを耕地整理することにより広くし、管理しやすくしてほしい。	20代男性、30代男性
山鹿市の魅力（人、歴史、観光、農産物）を最大限発信する取組が必要だと感じる。市の認知度、イメージアップが図られると、住んでいる私たちも市民としての誇りを持って、地域の元気（活気）に繋がると思う。観光資源など、何か活気づくりのきっかけがあれば人や企業も集まってくると思う。	30代女性
特に山鹿の中心部、プラザ付近の活気が必要。夜は暗いうえ店は閉まっている。	30代男性、40代男性
県北にないお店や若い方たちが山鹿に来てくれるようなお店を誘致して欲しい。	30代女性
スポーツ施設の充実、カルチャースポーツセンターにナイター設備を設置して欲しい。サッカーコート、人工芝も整備して欲しい。子ども達が大人になっても山鹿に住みたいと思うような街をつくってほしい。農業者（新規）が増えもっと農業を盛んにして欲しい。山鹿市をアピールして欲しい。観光大使、山鹿出身の有名人等を使って宣伝する。耕作放棄地を利用した施設の整備を進める。	30代男性
ドローンなどを活用した新しい取組を実施する。施設の開拓やインパクトのある施設を。	30代男性

<p>灯籠まつりや花火は年1回なので、土日、人を集める所があれば良いと思う。例えば九州もしくは、熊本一ぐらいのガチャガチャ店を誘致する。人が集まれば、飲食店も潤う。究極を言えばその場（ガチャガチャ）の周りに全てあればいい。飲食店、広い駐車場、リピート率に影響するので綺麗な広いトイレも必要。山鹿は交通量が多いので知名度はあると思う。</p>	40代男性
<p>ネット、SNSを使ったアニメ・ゲームなどのサブカル文化の力を活用して、若者が楽しめるまちにして欲しい。</p>	40代男性
<p>地域の特性を最大限利用し、TSMC 関連の方々に山鹿に来ていただきお金を使っていただける仕組みを作って欲しい。他の市町村より迅速かつ奇抜な発想を行政に期待したい。</p>	40代男性
<p>TSMC などの企業誘致も大事だが、地域に根付いた産業や雇用を生み出している地場企業を重んじるのも重要だと思う。優秀な地元企業が隣の市町に出ていくことがないように、山鹿市の魅力・メリットを上手くアピールし、共に地域活性化を担っていけるような政策、取組を実施していくべき。</p>	40代男性
<p>山鹿市中心部や発展中の鹿本地域ばかりに大型スーパーなどの店が立地しているが、郊外の方にも店が欲しい（コンビニでなく）。普段の買い物が不便。</p>	50代女性
<p>最先端の取組を増やしてほしい。IT化の充実もスポーツ環境整備も。アウトドア施設（キャンプ場）や民家滞在制度（ホームステイ）や留学制度（種子島宇宙留学のような）など、全国から人が集まる仕組みづくりがあったらいいと思う。</p>	50代女性
<p>さくら湯、千代の園、農産物（菊鹿の栗、鹿北のタケノコ）など地元産のアピール。「よへほちゃんねる」の活用。若者に定住していただくのも大事だと思うが、高齢者の方達にもっとやさしいまちづくりも必要だと思う。政策など市民への理解度を高め、アピールの方法を考えてみてはと思う。</p>	50代女性
<p>大学誘致、中心部の活性化。人口政策として地域の安全性をアピール（地震の教訓）。</p>	50代男性
<p>山鹿市民が楽しく利用出来る温泉施設が必要だと思う。図書館の書籍の少なさは問題。豊前街道等の観光地を賑やかにしたいなら他県の取り組みも参考にしたい。足湯も暗い。</p>	50代女性
<p>次々と大きなスーパーや店が増えて、以前からある地元の店が立ち行かず辞めて行っている。地元との関わりが薄れていく。山鹿にある観光名所や工夫したイベントを掘りおこし若者や地元の人にまず山鹿の良さを知ってもらい、山鹿に残りたいと思う街（ほこりに思う）づくりをしてほしい。</p>	60代女性
<p>商工農が連携して活動しないといけないと思う。PR 不足。それぞれの地区に目玉をつくり、他にない景色をアピールしながら特産品運動を展開。山鹿を訪れた観光客が地区の目玉を巡るツアーを実施する（市内観光）。農家おたすけ登録システム案。勤め人の方が農作業を助ける。蚕とワインは市民に馴染んでいない。若い人に山鹿がいいと実感してもらおう事をいっぱいづくり、実現させよう。やまがメイトのおくやみは山鹿市全体のおくやみを掲載して送ってほしい（今は町内の</p>	60代女性

<p>みなので)。</p>	
<p>後期高齢者となっても、働ける元気な方々は、もっと何か出来る事があるのではないか。子ども・若い方々との交流など一緒に活動する場をもうけて生き甲斐を持ち助け合う町づくりを。山鹿市は「山鹿灯籠まつり」「温泉」のイメージが他県にも認知されているが、グルメになると何も答えるものがない。豊前街道にも力を入れて欲しい。日・祭日休みにせず。短時間でも、営業してアピールして欲しい。若い人達が、歩いて楽しめるお店を。高齢者・障がいのある人達のためにも、バリアフリーを充実してほしい。</p>	<p>60代女性</p>
<p>山鹿の将来像が見えない。人口もあと10年もすれば4万を割り、高齢化も急速に進んでいくのではないかと。灯籠まつりの2日間では一年間の生活ができるだけの収入は入ってこない。これでは、商店街のシャッター通りが今まで以上に多くなってしまふ。</p>	<p>70代男性</p>

IX. 市民アンケート総括

<山鹿市の現状について>

- ・ 人口減少については、「危機感がある」が 36.9%、「少し危機感がある」が 35.0%となっており、約 7 割が危機感を感じている。R3 年度と比較しても大きな差は認められない。
- ・ 元気度については、前回と同様に、「元気はない」「あまり元気はない」との認識が 5 割を超えている。
- ・ 農林業の現状についても前回と同様に、「衰退している」「少し衰退している」の割合が 5 割を超える結果となっている。
- ・ 観光産業の現状については、「元気がある」「少し元気がある」が 28.6%となり、前回より 5 ポイント以上増加している。

<人口政策について>

- ・ 人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が 30.0%で最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.2%、「移住定住の促進」20.8%となっている。R3 年度と比較しても大きな差は認められない。
- ・ 人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の 25.8%となっており、これに「山鹿市国土強靱化計画の推進」24.1%、「小児医療体制の充実」22.8%が続く。「小児医療体制の充実」については不満足も同程度の 23.8%となっている。
- ・ 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）として、「夢と希望を叶える就労支援事業」、「新規就農総合支援事業」、「小児医療体制の充実」が挙げられる。

<自由記述から>

「夢と希望を叶える就労支援事業」

- ・ 事業について知らないという意見が 29 件に上った。若者、女性、障がいのある人など就労を希望する方に対し、就労支援を行う取組であり、働く場所がない、若者の就労の場がない、障がいのある人が安心して働ける場もないため若者の流出を防ぎ定住に繋がる環境が整っていないことを示唆する意見が多くなっている。
- ・ 賃金が高い企業が少ない、フルタイムや正規職員の求人不足など雇用の場の質に関する意見や女性だけが子育てや家事の負担をするのが当たり前という風土などが人口流出の原因であるとの意見もあった。
- ・ 上記のような状況を打開するために、企業誘致や若い人が集まる専門学校の誘致などについての提案もあった。

「医師・看護師就学資金を活用した人材育成」

- ・ 修学資金を利用した学生が山鹿市内の医療機関にどれだけ就職しているのかなど、資金は利用したもの大都市に流出しているのではという疑問の声をいくつか挙げられており、制度に対する周知や理解促進が求められている。

- ・ 市内での医師不足や高齢化、乳幼児の夜間や急患への対応が不十分と指摘する声もいくつか寄せられており、特に小児科や産科、専門医の常駐、救急医療の充実が求められている。

「新規就農総合支援事業」

- ・ 農業高校の活用、後継者育成の仕組みづくり、JA との連携、儲かる農業の実現などの提言も多かったほか、若者だけでなく高齢者の就農支援などを求める声もあった。
- ・ 本市の基幹産業である農業を支えることを目的に人材育成を支援する事業だが、事業を知らないという意見が多く寄せられており、事業の周知が求められている。

「やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）」

- ・ 空き家はたくさんのあるのに入れる家屋は少ないなど、年々増加する空き家に対する取組を求める声のほか、空き家だけの限界集落の不安など、空き家対策が喫緊の課題であることを訴える意見が寄せられている。
- ・ 県外からの移住の少なさや止まらない人口減少の状況から事業に対して疑問視する声がある一方で、山鹿の売りを SNS で発信したり、空き家の解体費用の補助などの提言も多く寄せられている。
- ・ 移住してきた人の数や実態などがわからないという指摘など、事業の周知・認知に関する意見も多く寄せられた。

「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」

- ・ 高齢者が増加するなか支援の内容説明等を求めたり期待する声が多く挙げられたが、一方で高齢者が安心できる体制が整っていないこと、大人の引きこもり問題、高齢者の低所得者対策などの必要性を訴える意見もあった。
- ・ 包括支援体制で重要な役割を果たしている地域の区長との連携不足、民生委員などの地域を支える人材不足を指摘する意見も多く寄せられている。

「山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進」

- ・ なぜ和水町との連携なのかなど十分な説明が行われていないという認識で市民の理解度が低く結果的に満足度は低いと指摘する意見があった。
- ・ 取り組みの内容はわからないが人口減少が著しく進んでいる中で近隣の自治体で連携する必要があるとの意見もあった。具体的には和水町だけでなく玉名、菊池、熊本市との広域連携に関する提案や、連携よりも山鹿市内の活性化を優先すべきという意見もあった。

「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」

- ・ 集中豪雨など自然災害が起きる度に土砂災害の警戒情報は流されるが、河川、道路、山腹などの減災に備えた事業が進んでいるのか疑問を持つ声もいくつか寄せられた。迅速な対応と長期的な災害対策、危機管理対策、防災対策の充実が求められている。
- ・ 近隣の市町にある防災センターのような施設、市役所・消防・警察・病院の連携、荒尾、玉名、菊池との広域連携による防災対策などの提案もあった。

「小児医療体制の充実」

- ・ 医師の高齢化と不足、看護師等の医療従事者の高齢化、産科、婦人科、小児科の不足、時間外や夜間、休日、急患、重症化に対応できる施設の不足など、市内での小児医療体制に不安を抱く人たちの意見が多数寄せられており、市外への流出を防ぐためにも夜間診療できる救急医療体制の整備、休日医療対応の充実が早急に求められている。

- ・ 子どもが医療を必要とするときに近隣の都市まで出向く不便を訴える意見もあり、市民医療センターの拡充と質の向上を期待する声も多く挙げられている。

「母子保健事業」

- ・ 不妊治療費用を含む妊娠・出産を支援する事業であり、事業に関連する産婦人科の不足を訴える意見が数多く寄せられている。
- ・ 山鹿市内から熊本市や合志市、菊池市の産科、小児科を受診している人が多いという指摘もあり、若者が定住するための重要な条件となる安心して子育てできる体制づくりが求められている。
- ・ 手当が少ないなどの出産や育児にかかる費用を不安視する意見や不妊治療への補助を求める声もあった。

「子育て支援事業」

- ・ 子どもが18歳になるまで医療費がかからないことを評価する一方で、小児医療や救急医療体制が市内で整っていないことを指摘する声もあり、人口増加を目指す本市では小児医療・母子保健事業・子育て支援事業が最大の課題であるとの意見もあった。
- ・ 保育所の充実と幼稚園の延長保育、病後児保育など、出産から未就学児までの期間を支援する体制が不足しているとの指摘もあり、妊娠、出産、保育、教育までの子育てをシームレスで支援する体制の構築が求められている。
- ・ 子育て期に重要な役割を果たす公園の増設、学校閉鎖による若者の流出、母子家庭や低所得者対策などの対応を求める意見もあった。

<経済政策について>

- ・ 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が48.1%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」31.4%、「新たな交流の促進」11.8%となっている。R3年度と比べ大きな差は認められない。
- ・ 経済政策の満足度について「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」となっている。
- ・ 経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高く、その中でも「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」は62.1%で最も高くなっている。
- ・ 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」が挙げられる。

<自由記述から>

「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」

- ・ 近隣自治体との連携と謳いながら、うまく連携できていないという意見があり、県立装飾古墳館やワイナリーなどを結ぶ公共交通機関がないこと、大量に観光客を呼び込むことができる鉄道がないことなど、交通インフラの不足を指摘する声が多く挙げられている。
- ・ 阿蘇、菊池、玉名など菊池川流域の温泉郷の連携、和水との古墳連携、冬場のイベント開催

などの提案も多くなされた。

- ・ 山鹿の風情がなくなるとの理由でくまモンの設置に反対する意見や食べ物体験などの SNS 発信などの提案も多く挙げられた。

「観光戦略プロモーション（福岡ターゲット構想）」

- ・ 福岡をターゲットとすることに疑問視する声も多く寄せられており、九州外や関東、関西圏をターゲットとしてプロモーションを提案する意見があった。
- ・ 公共交通機関や駐車場の不足、鉄道やバスなどの交通アクセスの整備の必要性を訴える声も多く挙がっている。
- ・ 道の駅周辺の観光地の不足、食事する場所、宿泊施設など観光関連産業の育成を提案する意見もあった。

「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」

- ・ お金をかけている割に成果はどうかなど費用対効果を疑問視する意見も多く挙げられている一方で、地元の酒造メーカーや宿泊施設などとの連携を提案する意見もあった。
- ・ 新シルク蚕業については、どのようなことを行っているのかを知りたいという意見も多く、ワイナリーには地元住民にワインのおいしさを伝えるような取組を求める声のほか、経営を心配する声や交通アクセスの不便さを指摘する意見もあった。

「スポーツコンベンション誘致推進事業」

- ・ ハンドボールや野球など迫力あるスポーツの観戦、サイクリングコース、巨大なドーム型プール、スケート場の設置など、比較的多くの希望や提案が寄せられた。
- ・ 温泉プール、トレーニング施設、リハビリ施設などの市民の健康増進に役立つ施設の提案もあったほか、課題としては交通アクセスや宿泊、合宿施設の不足などの課題も挙げられた。

「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」

- ・ 豊前街道だけが山鹿ではないなど、山鹿市全体への気配りを求める声はいくつか挙げられている。
- ・ 空き店舗や夜間のみ営業の店のことなど市の予算を使った支援への疑問なども挙げられた一方で、10 店舗ほどの連携による食の街道づくり、ワイナリーと提携したスイーツカフェ、八千代座周辺の駐車場整備など数多くの提案も寄せられた。

「山鹿米のブランド化と販路拡大」

- ・ 山鹿全体の米をブレンドするのではなく本当においしい米を厳選してブランド化するなどブランドとしての品質を確保することやパッケージデザインに力を入れることなどの提案が寄せられている。
- ・ 10 年もすれば後継者はほんのわずかになることなどの後継者問題、米農家と J A と市役所の連携、大型農業法人による耕作などブランドづくりの基盤となる課題も多く挙げられた。

「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」

- ・ 機械化と費用及び返済の問題、方針は理解できるものの後継者育成が先とする意見、増加する一方の休耕田などスマート農業を支えるための基本的な課題を挙げる意見があった。
- ・ ドローンについては積極的な利用に賛意を示す意見とドローンによる農薬の空中散布を不安に思う意見に分かれた。
- ・ 頑張る若い農家を支援することを歓迎する意見がある一方で、スマート農業をしているとこ

ろを見たことがないという意見もあり、認知度や理解度の向上が大きな課題であることも示唆された。

<山鹿市総合計画について>

- ・ 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「健やかで安心して暮らせる地域の実現」22.6%、「住みやすく子育てしやすい環境の充実」20.6%となっている。R3年度と比べ大きな差は認められない。
- ・ 総合計画の先導施策の満足度についてみると、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」29.3%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」及び「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」の15.7%となっている。
- ・ 重要度については、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の割合が最も高くなっている。
- ・ 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てできるまちづくり」が挙げられる。

<自由記述から>

「多彩な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり」

- ・ 地域産業を活かした6次産業化を推進するまちづくりとしており、山鹿にしかないものを全面に、甲州ワインのアピールの仕方などを参考にした方がよいという意見があった。
- ・ ワイナリーやシルク等は市民の一部の役に立つものに過ぎないなど厳しい意見もあった。
- ・ 雇用創出という面では大企業の誘致やTSMC対策を求める意見もあり、農業の後継者問題や山鹿ブランドの担い手育成など人づくりの重要性を指摘する声もあった。

「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」

- ・ 若者が増え結婚、出産、子育てができる環境づくりの視点で、若者向け衣料店の誘致、移住者の増えるまち、雇用の場、見合い促進、医療で困らない子育て環境、保育所、学校、進学などについて、さまざまな意見が寄せられた。

「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」

- ・ 本市の未来を担う有望な人材を育成するという事業に対して、若者が働く場、働きたいと思う企業など雇用環境づくりを指摘する意見が多く出されている。
- ・ 人材育成のための大学や専門学校の誘致、通学先への交通アクセスの改善などの課題も挙げられた。
- ・ 「優秀な人材」の基準は何かなど文言への疑問の声も寄せられている。

「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」

- ・ 安全・安心で災害に強い住み続けたいまちを作っていくために必要な、災害に強いインフラ、洪水対策、災害時の支援内容の周知、避難所、老朽化した橋や建物対策、ライフラインの確

保など、さまざまな意見が寄せられている。

「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」

- ・ 心も体も健やかでいつまでも暮らしていくという視点で、早期発見・早期治療の啓発・広報、高齢者の健康維持対策、コロナ対策、乳幼児の医療体制、婦人科不足への対応などの提案が多く挙げられている。
- ・ 検査や検診料の低額化や隣接市町との連携による感染症対策の必要性などの指摘もあった。

＜山鹿市に対する考えについて＞

- ・ 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が43.8%、「暮らしにくい」が15.6%、「どちらでもない」が38.0%となっている。R3年度と比較すると、「暮らしにくい」が減少し、「どちらでもない」が増加している。
- ・ 「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」が76.6%で7割以上の方が住みたいと回答している。R2年度及びR3年度と比較すると、「ずっと住みたい」の割合が微減傾向であることが認められる。
- ・ 「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と回答した方の理由としては、「自然環境に恵まれている」の割合が57.2%で最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.7%、「買い物や生活に便利」31.3%となっている。R2年度とR3年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が高くなっていく傾向が認められる。
- ・ 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が48.2%と最も高く、次いで「若者の就労支援の充実・強化」42.6%、「子育て支援の充実・強化」41.5%「医療機能体制の充実・強化」41.2%となっている。

＜自由記述から＞

「暮らしにくい理由」

- ・ R3年度調査と同様に、公共交通機関の少なさなど「交通アクセスの不足」による買い物や通院の不便を訴える意見が多くみられた。車なしの生活は考えられないことから、加齢に伴う機能低下による免許返納を不安視する意見もあった。
- ・ 高齢者や子どもが多い割には医療が発達していない「急患児は山鹿市内での対応は不十分」「ショッピングセンターのような1つのビルで全部の買い物をおわらせるような大きな店が欲しい」「狭い山鹿市に同じような店舗ばかり増えている」「若者の働く場が少ないと思う。賃金が安い」「水道代、税金などが高すぎる」などの意見もみられた。

「市外へ転居したい理由」

- ・ 「交通・買い物・医療等の不便」を訴える意見が多くみられた。
- ・ 「活気・楽しみの不足」「進学や雇用環境」「医療・福祉」「行政の対応」を転居理由とする意見もみられた。